IMU-01

- お買い上げありがとうございました。
- ご使用前に必ずお読みいただき大切に保管してください。

●次のような用途にご使用される場合は、十分な配慮が必要となりますので、事前に当社にご相談ください。
- 人命に直接かかわるシステム
- 社会的・公共的に重要なシステム
- その他、機能維持に重大な影響をおよぼすシステム

安全上のご注意

⚠注意

●交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れないでください。
感電の原因となることがあります。

●この装置を分解・改造しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

●開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●直射日光の当たるところや温度の高いところに設置しないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。
落下して、ケガ・故障の原因となることがあります。

●この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置してください。
けが・故障の原因となることがあります。

●イーサネットポートに10BASE-T以外の機器を接続しないでください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

●センサ等を接続するポートに、指定外の機器を接続しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

●内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。

●商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい所からお取りください。

●この装置の電源を切るときは電源コードをはずしてください。

●この装置を清掃する際は、その前に電源コードをはずしてください。

●仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。

●この装置を高所に取り付ける場合は、ネジなどで壁面に確実に固定してください。

●RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイスト・ペア・ケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。

●湿度センサのセンサ部に触れたり、帯電したものを近づけないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。

●コネクタに接続されたイーサネットケーブルまたは、電話線のモジュラプラグを帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害および本装置の故障・誤動作などの要因によって生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

ご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

INDEX

もくじ

07 統合管理

10 故障かな？と思われたら

11 アフターサービス

01 製品概要

Outline

01-1 特徴

■特徴

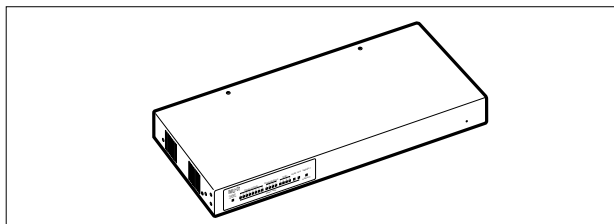
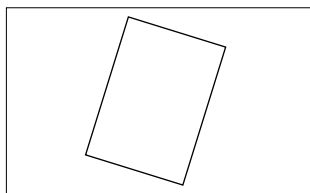
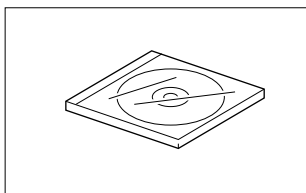
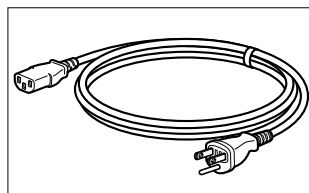
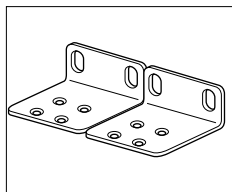
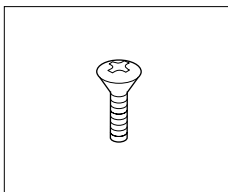
☆ラック内の様々な状態を監視
- ・温度、湿度等の環境状態
- ・電流、電圧、電力、積算電力量
- ・デジタル入力に接続される各種センサ情報

☆サーバやLAN機器等への電源供給を制御
- ・電力・温度・湿度センサやデジタル入力信号等と連動して、電源出力を停止させることが可能

☆サーバやLAN機器の死活を監視
☆遠隔地から、Webブラウザ・SNMPマネージャ等により監視・制御が可能
☆障害発生時、電子メールやSNMPトラップで自動通知
☆ネットワーク上のすべてのネットワーク監視装置を一括監視できる統合ソフトを標準装備
☆10BASE-Tイーサネットポートを装備
☆EIA19インチラックに収納可能(1U)

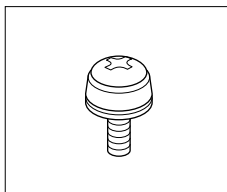
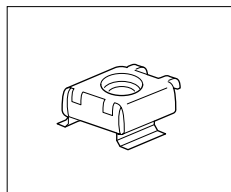
01-2 製品仕様

定格人力電源	AC100V(±10%) 50/60Hz
消費電力	40W
イーサネットポート	規　　格：IEEE802.3 10BASE-T MDI(半二重) コ ネ ク タ：RJ45 ポ ー ト 数：1ポート 最大配線長：100m(CAT3以上)
コンソールポート	RS232C Dsub 9ピン オス
温度監視ポート	コ ネ ク タ：RJ-45 ポ ー ト 数：4ポート
湿度監視ポート	コ ネ ク タ：RJ-45 ポ ー ト 数：1ポート
電力監視ポート	コ ネ ク タ：RJ-45 ポ ー ト 数：1ポート 最大配線長：10m(CAT3以上)
電源制御ポート	コ ネ ク タ：RJ-45 ポ ー ト 数：8ポート 最大配線長：10m(CAT3以上)
デジタル入力ポート	フォトカプラ入力(無電圧接点対応) コ ネ ク タ：ねじなし端子 ポ ー ト 数：4ポート 適合ケーブル：単線AWG26(φ0.4mm)～AWG16(φ1.2mm) 撚線AWG22(φ0.3mm²)～AWG16(φ1.25mm²) 最大配線長：10m
デジタル出力ポート	リレー接点出力(ノーマルオープン) 接点容量 DC48V　1A(DC24V以下は2A) コ ネ ク タ：ねじなし端子 ポ ー ト 数：4ポート 適合ケーブル：単線AWG26(φ0.4mm)～AWG16(φ1.2mm) 撚線AWG22(φ0.3mm²)～AWG16(φ1.25mm²) 最大配線長：10m
UPSポート	RS232C Dsub 9ピン オス
LED	Power/Status
	10BASE-T（LINK/ACTIVITY）
	温度、湿度、電力監視、電源制御、UPSポートの接続状態表示
管理機能	Web、SNMPによる管理
	E-mailによる障害通知
	コンソールによる初期設定
動作環境	温度:0～40℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）
保管環境	温度：-20～60℃、湿度：5～90%RH（結露なきこと）
外形寸法、重量	W440×D200×H44（mm）（突起部は除く）、約3kg
適合規格	情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)クラスA IEEE802.3 10BASE-T

01-3 製品構成

本　体

セットアップマニュアル…1枚

CD-ROM…1枚

電源コード…1本

取付金具…2個

取付ねじ(M4)…8個

化粧ねじ(M5)
化粧座金付…4個

ケージナット(M5)…4個

01-4 初期動作

電源を入れるとすべてのLEDが一斉点灯した後、いったん消灯します。
次に、メモリーチェック、ハードウェアチェックを行います。（その間LEDは、不規則に点灯し、一斉点灯した後、消灯します。）

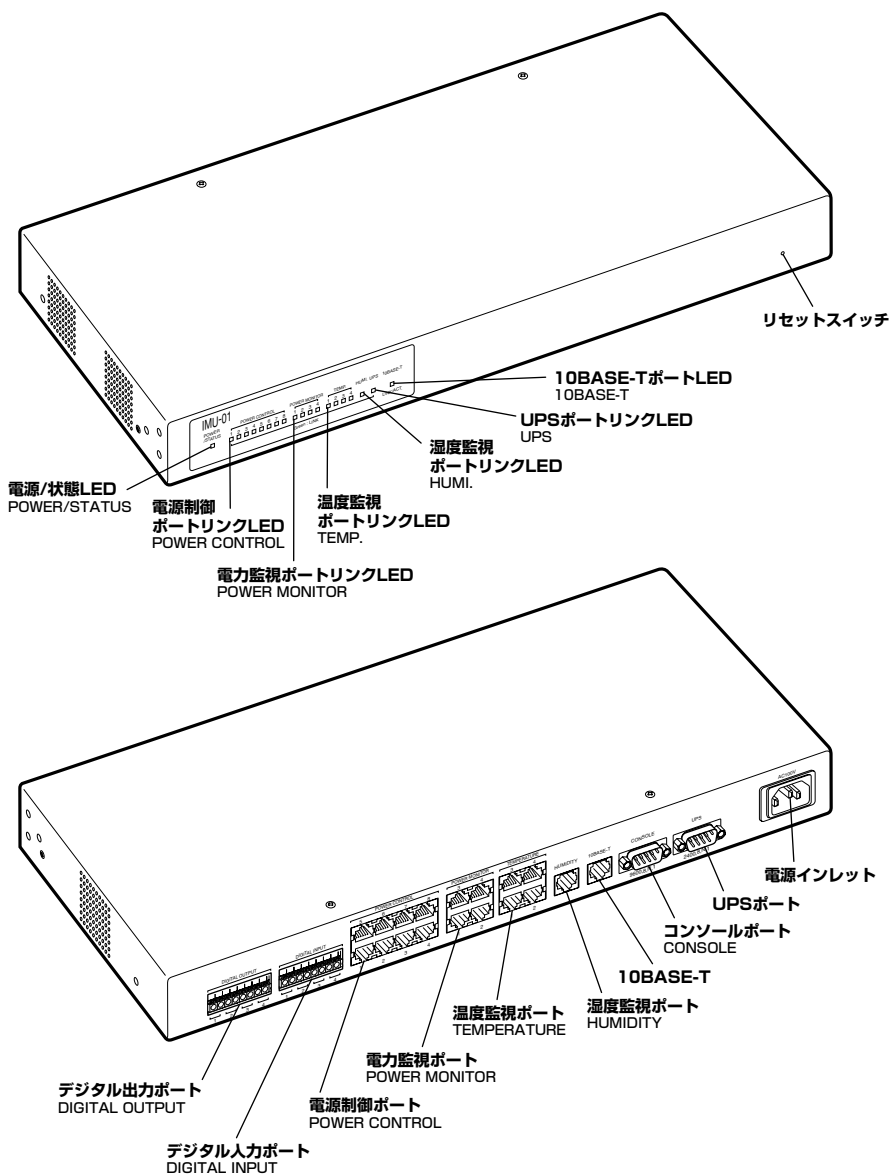
異常がない場合は、POWER/STATUS LEDが緑点灯します。
異常の場合は、POWER/STATUS LEDが赤点灯します。

その後、センサ等が接続されているポートのLINK LEDが30秒～60秒後に点灯します。
※異常を検出した場合は、販売店にご相談ください。

02 各部の名称と機能

Partsname And Function

リセットスイッチ
10BASE-TポートLED
10BASE-T
UPSポートリンクLED
UPS
湿度監視
ポートリンクLED
HUMI.
電源/状態LED
POWER/STATUS
電源制御
ポートリンクLED
POWER CONTROL
温度監視
ポートリンクLED
TEMP.
電力監視ポートリンクLED
POWER MONITOR
電源インレット
UPSポート
コンソールポート
CONSOLE
10BASE-T
湿度監視ポート
HUMIDITY
温度監視ポート
TEMPERATURE
電力監視ポート
POWER MONITOR
デジタル出力ポート
DIGITAL OUTPUT
電源制御ポート
POWER CONTROL
デジタル入力ポート
DIGITAL INPUT

02-2 機能

●電源制御ポートLED
電力監視ポートLED
温度監視ポートLED
湿度監視ポートLED
UPSポートLED
緑点灯：センサー類との接続が正常

●イーサネットポートLED
緑点灯：機器との接続が正常
緑点滅：パケット送受信中

●電源/状態LED
緑点灯：電源ONの状態
赤点滅：異常検出

●リセットスイッチ
操作には、ペーパークリップ等の先の細い物をご利用ください。

●電源インレット
必ず付属の電源コードを接続してください。

●コンソール・ポート
初期設定に使用します。
通信方式：RS232C
通信速度：9600bps
データ長：8ビット
パリティ制御：なし
フロー制御：なし
ストップビット：1ビット

●デジタル出力ポート
リレー接点出力(ノーマルオープン)

●デジタル入力ポート
フォトカプラ入力(無電圧接点)

●電源制御ポート
電源制御ユニットを8台接続可能

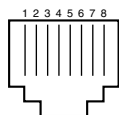
●電力監視ポート
電力監視ユニットを4台接続可能

●温度監視ポート
温度センサを4個接続可能

●湿度監視ポート
湿度センサを1個接続可能

●UPSポート
UPSの状態を監視します。
(対応UPSはお問い合わせください。)

●10BASE-Tポート
MDI　LAN機器との接続はCAT3以上のストレートケーブルを使用してください。

02-3 各ポートのピン配列

■イーサネットポート

ピン番号	信　号
1	TX+
2	TX-
3	RX+
4	NC
5	NC
6	RX-
7	NC
8	NC

■電力監視ポート

ピン番号	信　号
1	NC
2	NC
3	Reset
4	GND
5	受信
6	送信
7	NC
8	DC12V

■電源制御ポート

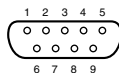
ピン番号	信　号
1	リレー1
2	リレー2
3	リレー3
4	リレー4
5	リレー5
6	リレー6
7	接続検出用
8	DC12V

■温度センサポート

ピン番号	信　号
1	5V
2	5V
3	NC
4	OUTPUT
5	GND
6	NC
7	NC(FG)
8	NC(FG)

■湿度センサポート

ピン番号	信　号
1	5V
2	5V
3	NC
4	OUTPUT
5	GND
6	接続検出用
7	NC(FG)
8	NC(FG)

1 2 3 4 5
6 7 8 9

■コンソールポート

ピン番号	信　号
1	CD(未使用)
2	RD
3	TD
4	DTR(未使用)
5	GND
6	DSR(未使用)
7	RTS(未使用)
8	CTS(未使用)
9	RI(未使用)

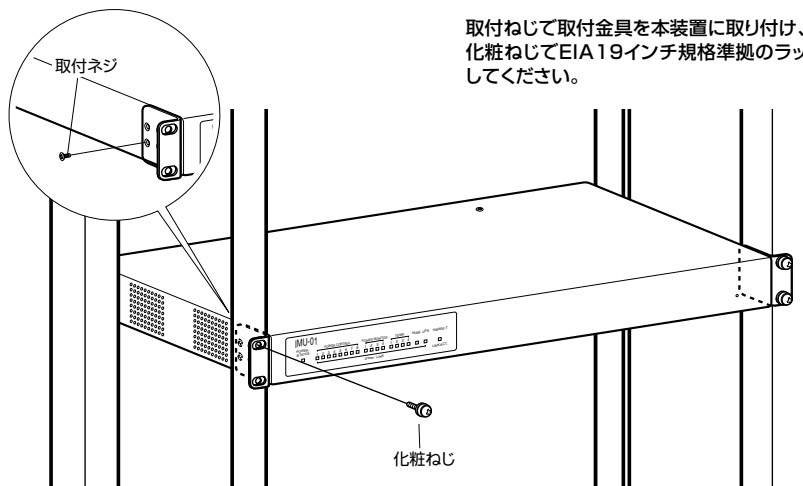
■PC

ピン番号	信　号
1	CD
2	RD
3	TD
4	DTR(未接続)
5	GND
6	DSR(未接続)
7	RTS(未接続)
8	CTS(未接続)
9	RI(未接続)

ご注意

●PCとの接続にはRS232C準拠クロスケーブル（メス-メス）（Dsub9ピン）をご使用ください。

03 設置方法

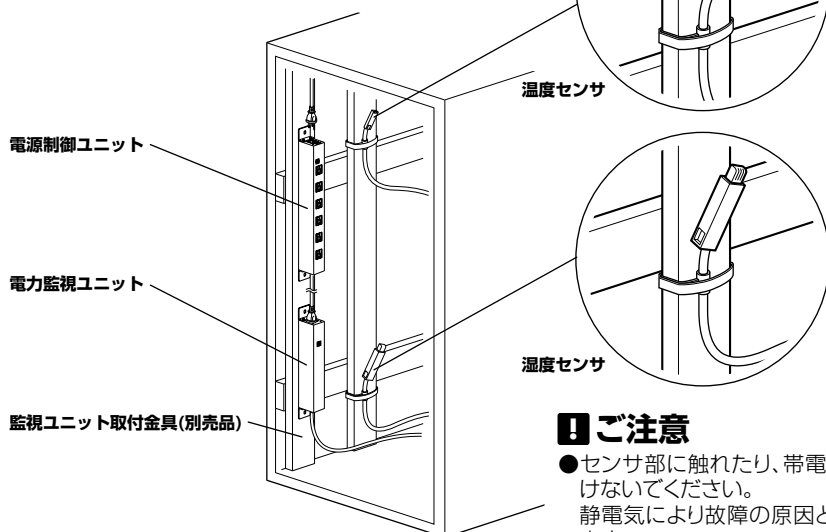
Installation

取付ねじで取付金具を本装置に取り付け、本装置を化粧ねじでEIA19インチ規格準拠のラックに固定してください。

●**電源制御ユニット**
ラックマウントの場合、付属の取付金具を取り付け、ラックに固定してください。(1U)
ラックの背面に取り付ける場合、監視ユニット取付金具(別売品)に取り付け、ラックに固定してください。

●**電力監視ユニット**
監視ユニット取付金具(別売品)に取り付け、ラックの背面に固定してください。

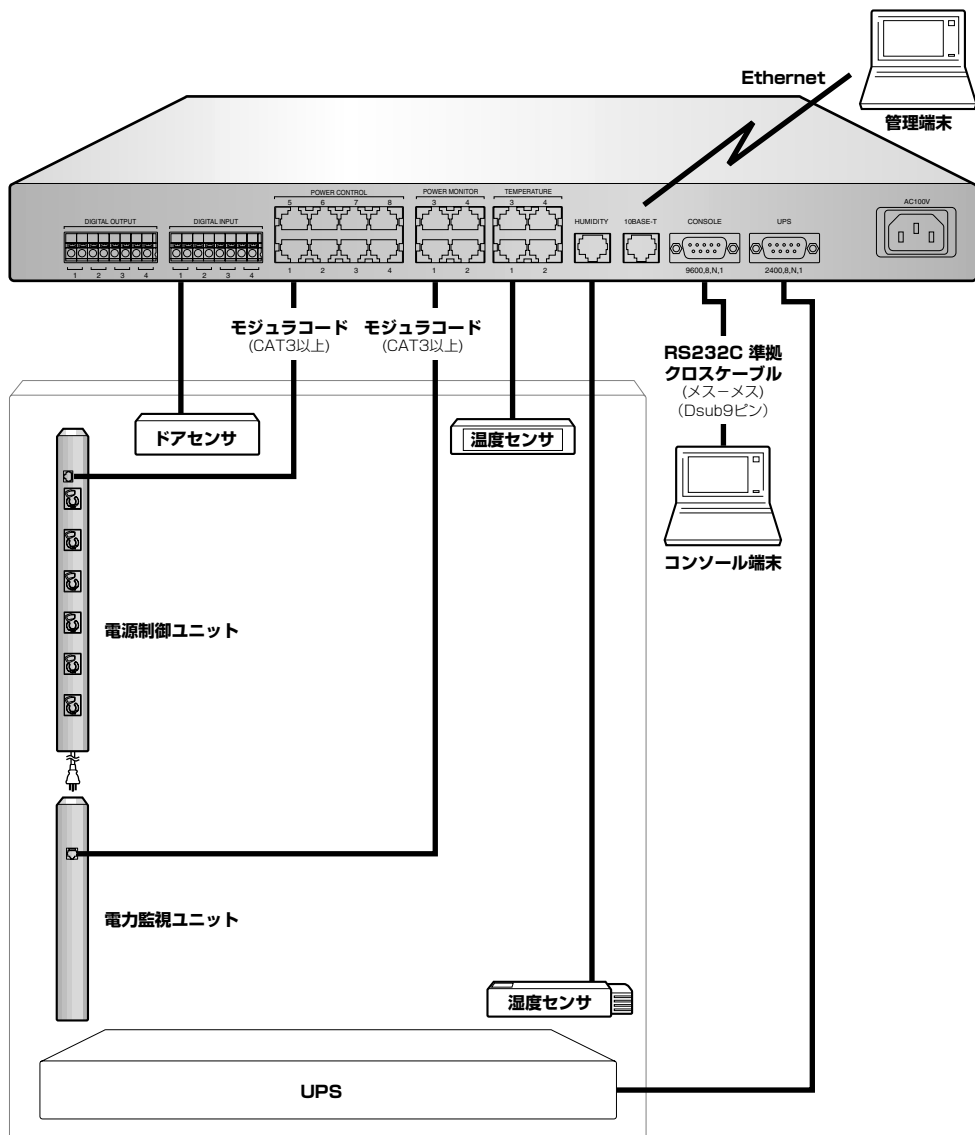
●**温度センサ**
付属のマジックテープで、ラックのフレーム等に固定してください。
センサー部は金属面に接触しないようにしてください。

●**湿度センサ**
付属のマジックテープで、ラックのフレーム等に固定してください。
センサ部は金属面に接触しないようにしてください。

温度センサ
電源制御ユニット
電力監視ユニット
湿度センサ
監視ユニット取付金具(別売品)

ご注意

●センサ部に触れたり、帯電したものを近づけないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。

04 接続方法

Connect

●電源制御ユニット(BCRN1020, BCRN1021)
8極8心モジュラコード(CAT3以上)でPOWER CONTROLポートに接続してください。最大配線長は10mです。

●電力監視ユニット(BCRN1010)
8極8心モジュラコード(CAT3以上)でPOWER MONITORポートに接続してください。最大配線長は10mです。

●温度センサ(BCRN1030, BCRN1031)
TEMPERATUREポートに接続してください。

●湿度センサ(BCRN1040)
HUMIDITYポートに接続してください。

ご注意

●指定のポートに接続してください。
誤結線した場合、破損のおそれがあります。

05 初期設定（コンソール）

Beginning
Establishment

IPアドレス等の設定を、コンソールポートを使って行います。
(Webで行う場合は06章のWeb管理を参照してください。）

05-1 コンソールで接続

●Windowsのハイパーターミナルのような VT互換端末エミュレーションソフトウエアが動作する端末を本製品のコンソールポートに接続します。
接続ケーブルはRS232C準拠クロスケーブル(Dsub9ピン)(メス－メス)を使用してください。

●**通信方式**：RS232C
●**エミュレーションモード**：VT100
●**通信速度**：9600bps
●**データ長：**8 ビット
●**ストップビット**：1 ビット
●**パリティ制御**：なし
●**フロー制御**：なし

05-1-1 コンソールで接続

●PCと本製品とをコンソール・ケーブルで接続し、以下の手順でハイパーターミナルを起動します。ただし、お使いになるPC に、ハイパーターミナルがインストールされていることが必須です。また、OSの種類、バージョンまたはPCの機種によって、操作手順が多少異なる場合があります。

①Windows のタスクバーの**[スタート]**ボタンをクリックし、**[プログラム(P)]→[アクセサリ]→[ハイパーターミナル]**を選択します。

②ハイパーターミナルのウィンドウが現れますので、**“Hypertrm.exe”**というアイコンをダブルクリックします。

③**「接続の設定」**ウィンドウが現れますので、名前を入力し、お好きなアイコンをクリックし、**[OK]**ボタンをクリックします。

④**「電話番号」**ウィンドウが現れますので、**「接続方法」**の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、**“Com1へダイレクト”**を選択し、**[OK]**ボタンをクリックします。ただし、ここでは、コンソール・ケーブルがCom1に接続されているものとします。

⑤**「COM1のプロパティ」**というウィンドウが現れますので、**「ビット／秒(B)」**の欄でプルダウンボタンをクリックすると、リストが表示されますので、**“9600”**を選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。

⑥取扱説明書の05-1-2～05-1-8に従って設定を行います。

⑦ハイパーターミナルのメインメニューの**[ファイル(F)]**をクリックし、**[ハイパーターミナルの終了(X)]**をクリックします。ターミナルを切断してもいいかどうか聞いてきますので、**[はい(Y)]**ボタンをクリックします。そして、ハイパーターミナルの設定を保存するかどうか聞いてきますので、**[はい(Y)]**ボタンをクリックします。

⑧ハイパーターミナルのウィンドウに、**“<name>.ht”**(<name>は、③で入力した名前)というファイルが作成されます。次回からは、**“<name>.ht”**をダブルクリックしてハイパーターミナルを起動し、⑧の操作を行えば設定が可能となります。

05-1-2　ログイン

ハイパーターミナルを接続した状態(05-1-1の⑤参照)で、本体コントローラをリセットします。Testing　Memory, Testing Loopbadに続き、<Enter> to Setup mode. が表示された後、2秒以内に Enter を押してください。
接続すると次のような画面が表示されますので、まずIDを入力しEnterキーを押してください。次にパスワードを入力しEnterキーを押してください。

<出荷時の設定>

ID：manager　Password：manager

```
Integrated Monitor Unit - 01
Software Version 1.1
Hardware Version 1.00
Boot Loader Version 3.1
SANKEN ELECTRIC CO., LTD.

ID：
Password：
```

05-1-3 メインメニュー

ログインが完了すると、次のような画面が表示されます。
Select Number : に実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、1から4を選択した場合は、指定した画面に移動します。
5から8を選択した場合は、Enterキーを押した後 YES/[Y] or NO/[N]と処理の確認が要求されますのでYESの場合はy(Y)を、NOの場合はn(N)を人力後、Enterキーを押してください。

ーMAIN MENUー

SETTING
1.SYSTEM SETTING
2.SNMP SETTING
3.SECURITY SETTING
4.USER REGISTRATION

VERSION UP
5.FARMWARE VERSION UP

EXIT & RESTART
6.SAVE & RESTART
7.QUIT WITHOUT SAVE
8.FACTORY RESET
9.FACTORY RESET EXCEPT IP

Select Number：

画面の説明	
1. SYSTEM SETTING	IPアドレス等の基本機能の設定を行います。
2. SNMP SETTING	SNMPに関する設定を行います。
3. SECURITY SETTING	セキュリティに関する設定を行います。
4. USER REGISTRATION	ユーザ登録を行います。
5. FARMWARE VERSION UP	ソフトウエアのバージョンアップを行います。
6. SAVE & RESTART	設定内容を保存後、再起動を行います。
7. QUIT WITHOUT SAVE	設定内容を保存せず、再起動を行います。
8. FACTORY RESET	工場出荷状態に戻した後、再起動を行います。
9. FACTORY RESET EXCEPT IP	工場出荷状態(IPアドレス除く)に戻した後、再起動を行います。

05-1-4 システム設定

MAIN MENUで1番を選択すると、次のようなSYSTEM SETTINGメニューの画面になります。Select Numberに実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、各項目の入力画面を表示します。
値を入力し、Enterキーを押すと、設定が更新されます。
入力完了後、m(M)を入力し、Enterキーを押すと、MAIN MENU画面に移動します。

```
—SYSTEM SETTING—

Ethernet Address    〈00C08FD00002〉

1.IP Address               192.168.1.1
2.Subnet Mask               255.255.255.0
3.Default Gateway IP Addr    0.0.0.0

4.DNS Server IP Address      0.0.0.0
5.Mail Server IP Address     0.0.0.0

6. UPS Model                  1
7.Web Port                   80

       Select Number(M:MAIN MENU) :
```

画面の説明	
Ethernet Address	本装置のMACアドレスが表示されます。これは、変更できません。
1. IP Address	現在設定されているIPアドレスを表示します。 出荷時の設定は192.168.1.1です。
2. Subnet Mask	現在設定されているサブネットマスクを表示します。 出荷時の設定は255.255.255.0です。
3. Default Gateway IP Address	現在設定されているデフォルトゲートウェイとなるルータのIPアドレスを表示します。出荷時は何も設定されていませんので0.0.0.0です。
4. DNS SERVER IP Address	現在設定されているDNSサーバのIPアドレスを表示します。 出荷時は何も設定されていませんので0.0.0.0です。
5. MAIL SERVER IP Address	現在設定されているメールサーバのIPアドレスを表示します。 出荷時は何も設定されていませんので0.0.0.0です。
6. UPS Model	監視対象UPS Modelを設定します。 設定方法はお問い合わせください。
7. Web Port	Webサーバのポート番号を表示します。 出荷時の設定は80です。

05-1-5 SNMP設定

MAIN MENUで2番を選択すると、次のようなSNMP SETTINGメニューの画面になります。Select Numberに実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、各項目の入力画面を表示します。
値を入力し、Enterキーを押すと、設定が更新されます。
入力完了後、m(M)を入力し、Enterキーを押すと、MAIN MENU画面に移動します。

```
—SNMP SETTING—

1.SNMP Enabled   2(1:enabled,2:disabled)

2.SET Community  private
3.GET Community  public

4.sysContact
5.sysLocation
6.sysName

        Select Number(M:MAIN MENU) :
```

画面の説明	
1. SNMP Enabled	1. enabled: SNMP機能を有効にします。 2. disabled:SNMP機能を無効にします。 出荷時の設定は2. disabledです。
2. SET Cominunity	SNMPマネージャからアクセスする場合の現在設定されているSETコミュニティ名を表示します。出荷時は「private」に設定されています。
3. GET Community	SNMPマネージャからアクセスする場合の現在設定されているGETコミュニティ名を表示します。出荷時は「Public」に設定されています。
4. sys Contact	連絡先を表示します。出荷時には何も設定されていません。
5. sys Location	設置場所を表示します。出荷時には何も設定されていません。
6. sysName	システム名を表示します。出荷時には何も設定されていません。

05-1-6 セキュリティ設定

MAIN MENUで3番を選択すると、次のようなSNMP SETTINGメニューの画面になります。Select Numberに実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、各項目の入力画面を表示します。
値を入力し、Enterキーを押すと、設定が更新されます。
入力完了後、m（M）を入力し、Enterキーを押すと、MAIN MENU画面に移動します。

```
—SECURITY SETTING—


Access Mode
1.Mode         1(1:NORMAL,2:SECURE)

Manager IP Address
2.Manager1     0.0.0.0/32
3.Manager2     0.0.0.0/32
4.Manager3     0.0.0.0/32
5.Manager4     0.0.0.0/32
6.Manager5     0.0.0.0/32
7.Manager6     0.0.0.0/32
8.Manager7     0.0.0.0/32
9.Manager8     0.0.0.0/32
A.Manager9     0.0.0.0/32
B.Manager10    0.0.0.0/32


        Select Number(M:MAIN MENU)：
```

画面の説明	
Access Mode	IPアドレスでSNMPでのアクセスを制限します。 1.nomal：どのマネージャからでもアクセス可能 2.secure：指定したマネージャのみアクセス可能 出荷時の設定は1です。
Manager IP Address	現在設定されているアクセスを許可するマネージャのIPアドレスを表示します。 設定・変更時はIPアドレスのみ入力してください。 「/32」部分は自動的に表示されますので、入力しないでください。

05-1-7 ユーザ設定

MAIN MENUで4番を選択すると、次のようなUSER REGISTRATIONメニューの画面になります。
Select Numberに実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、各項目の入力画面を表示します。
値を入力し、Enterキーを押すと、設定が更新されます。
入力完了後、m（M）を入力し、Enterキーを押すと、MAIN MENU画面に移動します。

```
ーUSER REGISTRATIONー

Administrater
1.Admin ID          manager
2.Admin Password    *****

General User
3.User1 ID
4.User1 Password
5.User2 ID
6.User2 Password
7.User3 ID
8.User3 Password
9.User4 ID
A.User4 Password
B.User5 ID
C.User5 Password

        Select Number(M:MAIN MENU)：
```

画面の説明	
Administrater	マネージャのIDとパスワードの登録を行います。
General User	ユーザのIDとパスワードの登録を行います。

05-1-8 バージョンアップ

MAIN MENUで5番を選択すると、次のようなSOFTWARE VERSION UPメニューの画面になります。
Select Numberに実行する項目ナンバーを入力し、Enterキーを押すと、各項目の入力画面を表示します。
1と2の値を入力後、3を選択し、確認要求(Enter YES/[Y] or NO/[N])に対し、Yを入力した場合にダウンロードを実行します。
ダウンロード実行後リセットがかかります。ダウンロード不成功の場合、30秒毎に実行します。m(M)を入力し、Enterキーを押すと、MAIN MENU画面に移動します。

ーFIRMWARE VERSION-UPー

1.Operation File Name

2.TFTP Server IP Address 0.0.0.0

3.Execute Download

Select Number(M:MAIN MENU)：

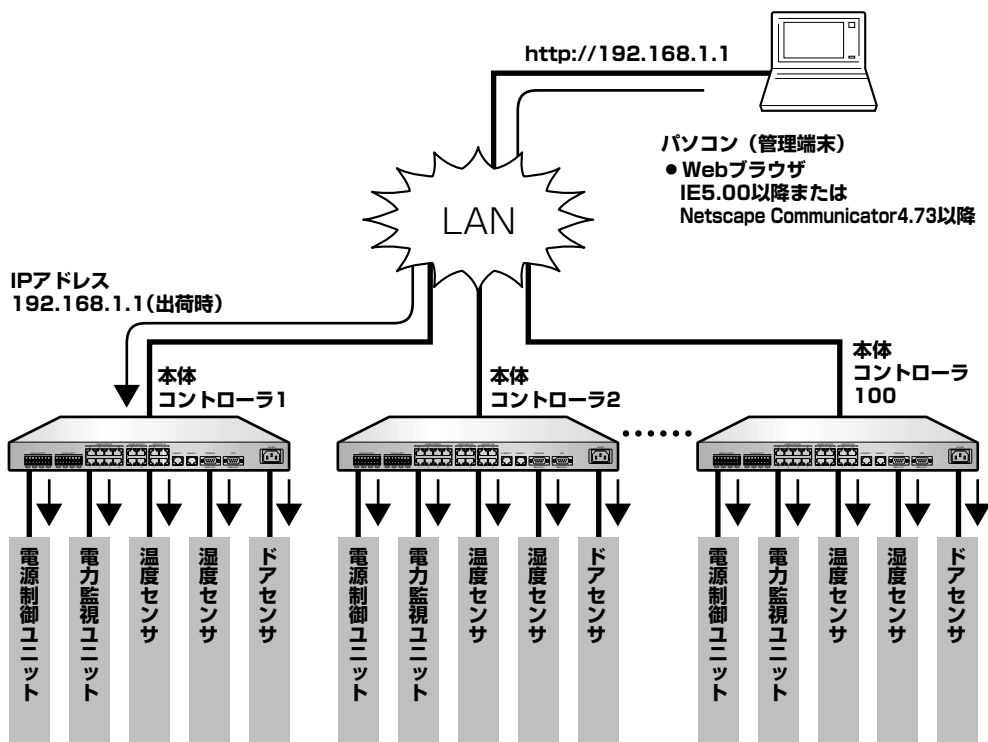
画面の説明	
1. Operation File Name	ダウンロードするファイル名を表示します。
2. TFTP Server IP Address	TFTPサーバのIPアドレスを表示します。
3. EXECUTE DOWNLOAD	確認要求に対し、Yを入力した場合にダウンロードを実行します。

06 Web管理（http）

Web Management

06-1 機能概要

●本体コントローラにWebサーバ機能を内蔵しており、Webブラウザでアドレスを指定することにより、モニタ・制御・設定ができます。

06-2 ログインする場合

●ブラウザーからログインするためには、本製品に設定したIPアドレスをブラウザーアドレス部分に入力します。入力する際、最初に「http://」と入力してください。その後に設定したIPアドレスを入力してください。出荷時のIPアドレスは192.168.1.1となっております。
IPアドレス入力後、図 06-2-1 のようなログイン画面が表示されます。ユーザー名・パスワードを入力してください。出荷時のユーザー名・パスワードの設定は「manager」となっていますので、各項目に「manager」と入力し、「ログイン」を押してください。画面が表示されない時は、通信条件等の設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

ご注意

●プロキシサーバーをご使用の場合は、ブラウザーのプロキシ設定の例外に本装置のIPアドレスを設定してください。

http://設定したIPアドレスを入力

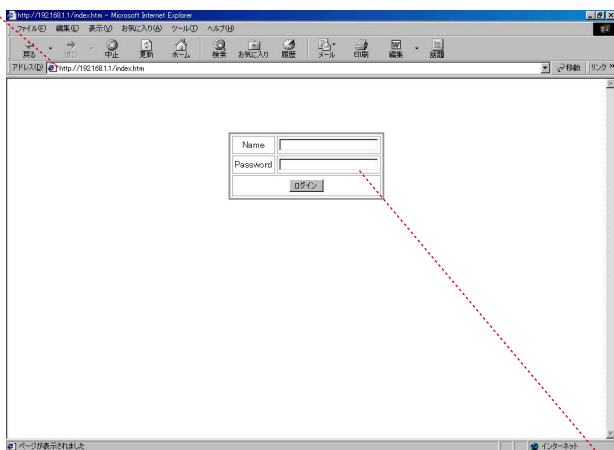
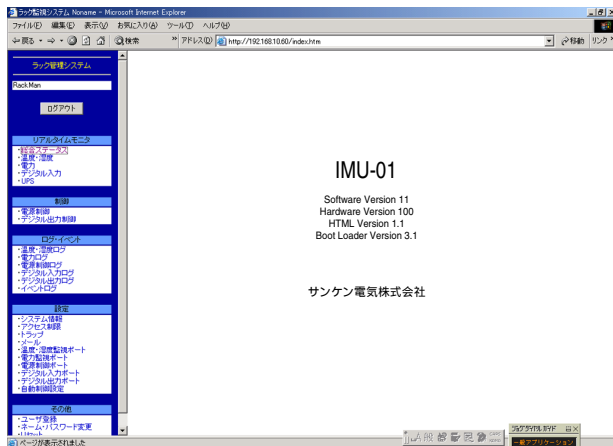



図 06-2-1 ログイン画面(ブラウザー)

出荷時のユーザー名：manager
パスワード：manager

図 06-2-2 ログイン後の画面

06-3 ログアウトする場合

●ログアウトするには左側メニューからから「ログアウト」ボタンを押し、終了させてください。再びログインするには、ブラウザを立ち上げ「IPアドレス」を入力してください。

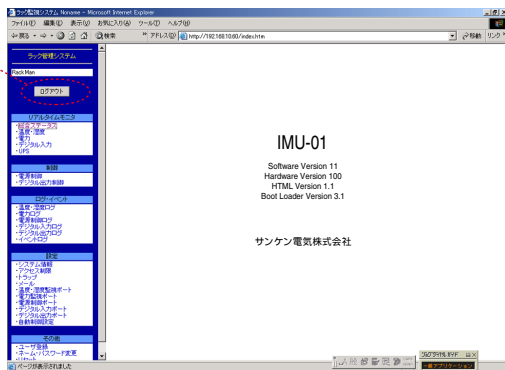



図 06-3-1 ログイン中の画面

●「ログアウト」ボタンをクリックすると下記画面に変わります。

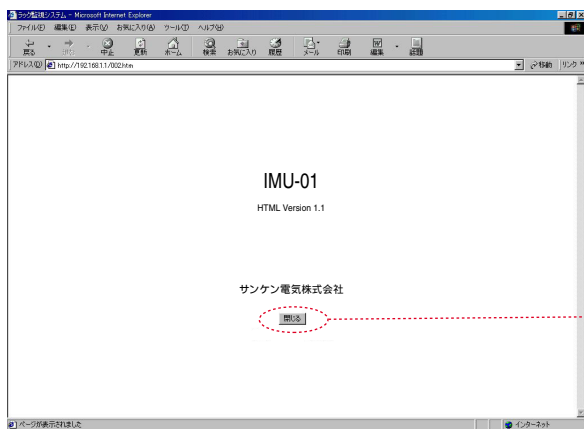
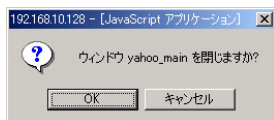
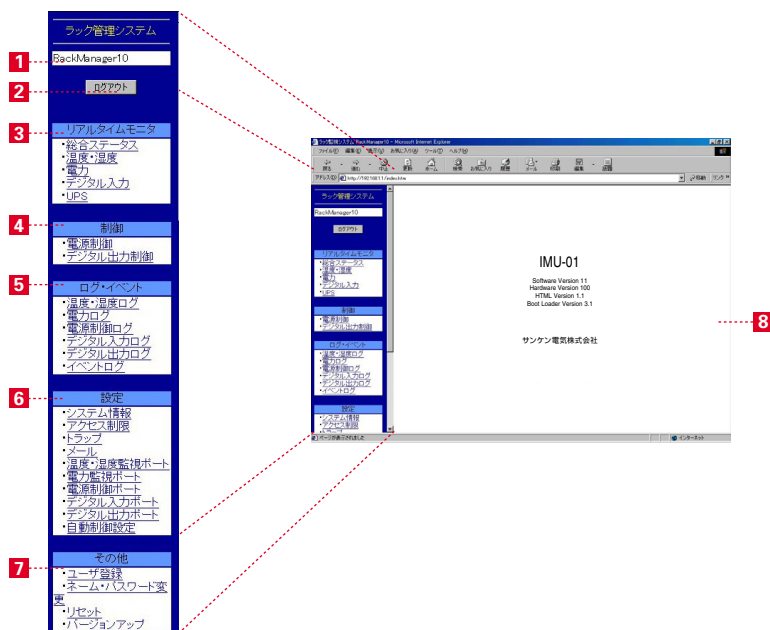



図 06-3-2 「ログアウト」ボタンをクリック後の表示画面
タイムアウト時のメニュークリック時にもこの画面が表示されます。

●「閉じる」ボタンをクリックするとWebブラウザソフトの終了確認ポップアップウィンドウが現れます。

[OK]ボタンをクリックするとブラウザが閉じます。また、[キャンセル]ボタンをクリックするとブラウザ画面で「Access denied」と表示します。

06-4 操作画面について

●本製品の画面は、次のような構成になっています。

●マネージャレベル(adminレベル)ログイン時には全ての監視と制御が可能になります。
●ユーザレベルログイン時には「リアルタイムモニタ」「ログ・イベント」項目のみ監視可能になります。

画面の説明	
1 システムの名称	設定したシステム名が表示されます。
2 ログアウト	操作を終了する場合にクリックします。
3 リアルタイムモニタ	接続されている各センサー及びデジタル入力ポート、UPSの情報をリアルタイムで表示します。
4 制御	電源制御及びデジタル出力制御を行います。
5 ログ・イベント	接続されている各センサー及び電源制御、デジタル入出力のログを表示します。 また、監視装置全体のイベント内容を表示します。
6 設定	本装置のシステム及び接続されているポート等、各項目の設定を行います。
7 その他	本装置にアクセスするユーザの登録、マネージャの設定変更及び設定内容のリセット、ソフトのバージョンアップを行います。
8 メイン画面	各メニューの設定画面や情報画面が表示されます。

06-5 リアルタイムモニタについて

●接続されている各センター及びデジタル入力ポート、UPSの情報をリアルタイムで表示します。

06-5-1 総合ステータス

●「総合ステータス画面」では、接続されている各センサー及びUPSの情報を一覧表示します。

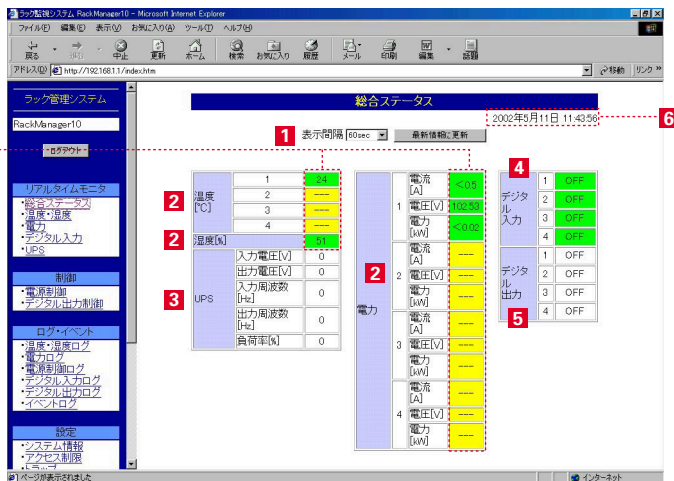



図 06-5-1 総合ステータス画面

ご注意

●「最新情報に更新」ボタンをクリックしても、計測値やセルの色がすぐに変わらない場合があります。
特に、温度・湿度・電力は、更新に30〜60秒程度かかりますのでご注意ください。

画面の説明
1 表示間隔（プルダウン） 情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒・60秒・180秒から選ぶことができます。 デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更はできません。
2 温度・湿度・電力 センサーを接続されている場合、計測値を表示します。未接続の場合は「---」が表示されます。セルの色は「黄色」です。 計測値が正常の場合はセルの色が「緑色」に表示されます。また、計測値が警報範囲に入った場合はセルの色が「赤色」に表示されます。
3 UPS 対応のUPSを接続されている場合、UPSの監視結果を表示します。未接続の場合は「○」が表示されます。 セルの色は変わりません。
4 デジタル入力 デジタル入力のON/OFF状態を表示します。表示するメッセージ（開-閉、ON-OFF等）は設定項目での内容によります。 セルの色は、設定項目で設定した正常状態の場合はセルの色が「緑色」に表示されます。また、正常状態でない場合はセルの色が「赤色」に表示されます。
5 デジタル出力 デジタル出力のON/OFF状態を表示します。セルの色は変わりません。
6 本装置時刻 本装置の時刻を表示します。

●「温度・湿度モニタ画面」では、センサーが計測した温度値・湿度値をグラフ化し表示します。

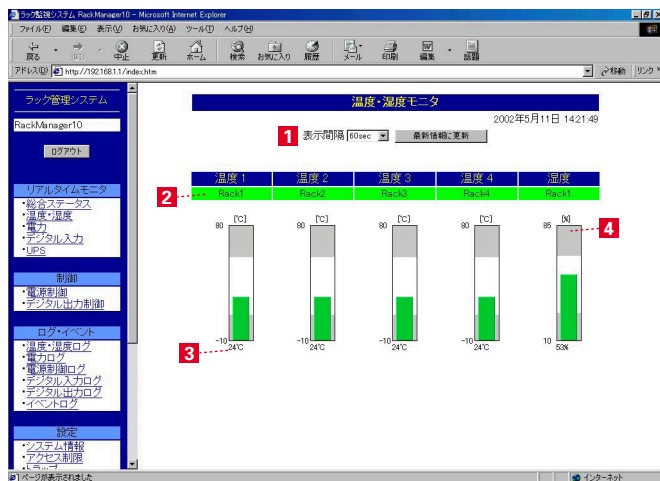



図 06-5-2 湿度・温室モニタ画面

画面の説明

1 表示間隔(プルダウン)
情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒・60秒・180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 名称と状態表示
設定項目で設定したセンサーの名前及び接続状態を表示します。
計測値が正常の場合は、セルの色が「緑色」に表示されます。また、計測値が警報範囲に入った場合はセルの色が「赤色」表示されます。センサーが未接続の場合とセンサー名を設定していない場合は、何も表示されません。

3 計測値
センサーの計測結果を表示します。未接続ポートはグラフが表示されません。

4 警報値
設定項目で設定した警報範囲は、「灰色」で表示されます。

●「電力モニタ画面」では、センサーが計測した電力値をグラフ化し表示します。

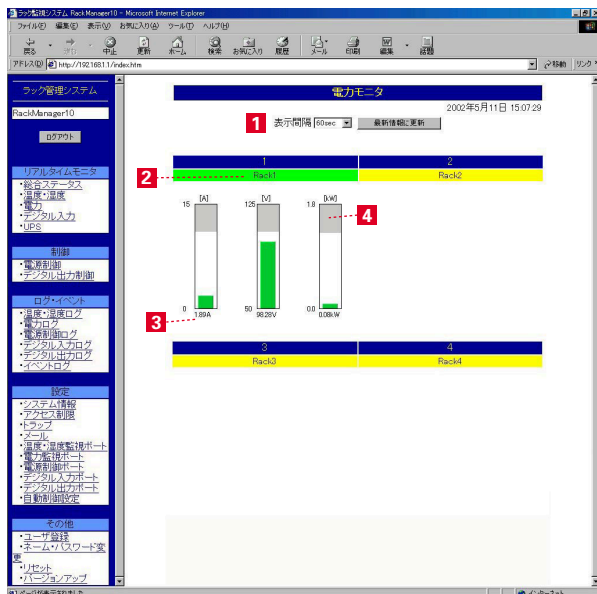



図 06-5-3 電力モニタ画面

画面の説明

1 表示間隔(プルダウン)
情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒・60秒・180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 名前と状態表示
設定項目で設定したセンサーの名前を表示します。
計測値が正常の場合は、セルの色が「緑色」に表示されます。また、計測値が警報範囲に入った場合はセルの色が「赤色」表示されます。センサーが未接続の場合とセンサー名を設定していない場合は、何も表示されません。

3 計測値
センサーの計測結果を表示します。未接続ポートはグラフが表示されません。

4 警報値
設定項目で設定した警報範囲は、「灰色」で表示されます。

●「デジタル画面」では、デジタル入力ポートの状態を表示します。

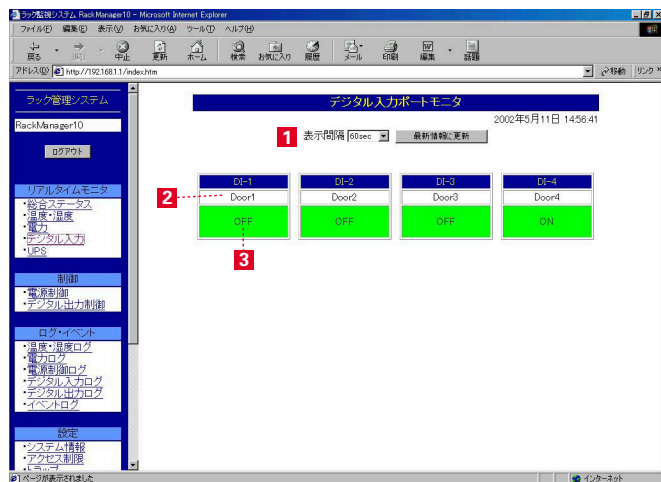



図 06-5-4 デジタル入力画面

画面の説明

1 表示間隔(プルダウン)

情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒･60秒･180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 名前の表示

設定項目で設定したセンサーの名前を表示します。
センサー名を設定していない場合は、何も表示されません。

3 状態表示

デジタル入力ポートの状態を表示します。表示するメッセージは設定項目での内容によります。
設定項目で設定した正常状態の場合は、セルの色が「緑色」で表示されます。また、正常状態でない場合はセルの色が「赤色」に表示されます。

●「UPS画面」ではUPSの状態を表示します。

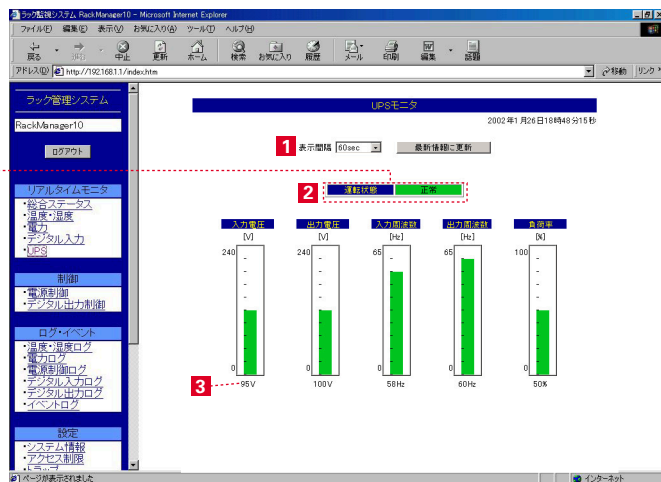



図 06-5-5 UPSモニタ画面

画面の説明

1 表示間隔（プルダウン）

情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒・60秒・180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 運転状態

UPSの運転状態を表示します。正常の場合は「緑色」に、バックアップの場合は「赤色」にセルが変わります。

3 モニタ

UPSの監視結果を表示します。

●電源制御及びデジタル出力制御を行います。

06-6-1 電源制御

●「電源制御画面」では、全電源制御ユニットの制御と、個別制御する電源制御ユニットの選択を行います。

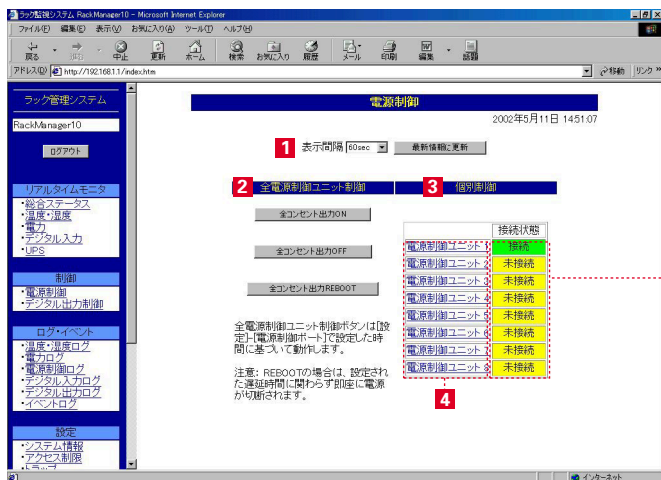



図 06-6-1 電源制御画面

画面の説明

1 表示間隔(プルダウン)

情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒･60秒･180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 全電源制御ユニット制御

本体に接続された全ての電源制御ユニットを一括制御します。
電源制御ユニット設定項の電源停止遅延時間、電源開始遅延時間の設定に基づいて動作します。デフォルトは0秒です。
但し、REBOOTの場合は、設定された電源停止遅延時間に関わらず、直ちに電源が切断されます。
制御実行前に以下の確認画面を表示します。

･全コンセントをONします。
･全コンセントをOFFします。
･全コンセントをリブートします

3 個別制御

電源制御ユニットを選択します。
接続状態：本体に電源制御ユニットが「接続」か「未接続」かを表示します。
接続されている場合はセルの色が「緑色」に、接続されていない場合はセルの色が「黄色」に変わります。

4 リンク 各電源制御ユニット番号をクリックすると、個別制御画面(P39)が表示されます。

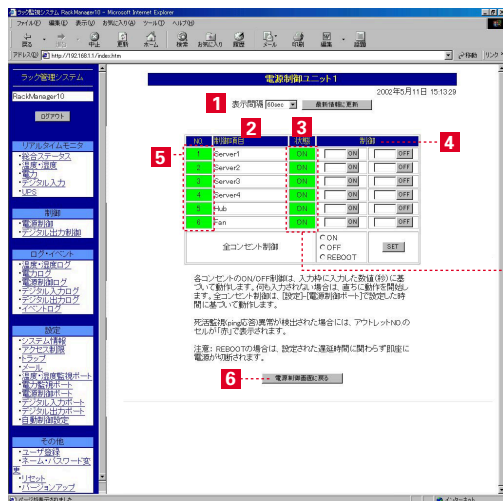
●「個別制御画面」では、各電源制御ユニットを個別に制御します。

出力状態によって
セルの色が
変わります。
出力ONの場合：■
出力OFFの場合：■

図 06-6-2 個別制御画面

画面の説明
1 表示間隔(プルダウン) 情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒･60秒･180秒から選ぶことができます。 デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。
2 制御項目　設定項目で設定した名前を表示します。
3 状態 コンセントの出力状態を表示します。出力ONの場合はセルの色が「緑色」に、出力OFFの場合はセルの色が「赤色」に変わります。
4 制御 コンセントの出力を制御します。入力窓に動作までの時間を秒指定します。入力がない場合は0秒指定として直ちに動作します。 **全コンセント制御**：電源制御ユニット設定項の電源停止遅延時間、電源開始遅延時間の設定に基づいて動作します。 デフォルトは0秒です。 但し、REBOOTの場合は、設定された電源停止遅延時間に関わらず、直ちに電源が切断されます。 制御実行前に以下の確認画面を表示します。 **個別制御**：「X」をONLします。(Xはコンセント番号) 「X」をOFFLします。(Xはコンセント番号) **全コンセント制御**：全コンセントをONLします。 全コンセントをOFFLします 全コンセントをリブートLします。
5 ポート番号 死活監視結果を表示します。 Ping送信した機器から応答がない場合、セルの色が「赤色」に変わります。
6 電源制御画面に戻る　電源制御画面に戻ります。

●「デジタル出力制御画面」では、デジタル出力ポートの状態監視と制御を行います。

図 06-6-3 電源制御画面

画面の説明

1 表示間隔(プルダウン)

情報の自動更新間隔の設定です。設定は30秒・60秒・180秒から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は60秒になっています。設定を変更する場合は、プルダウンから希望の数値を選択し、「最新情報に更新」ボタンをクリックしてください。クリックしなければ、数値変更は行いません。

2 制御項目

設定項目で設定した名前を表示します。

3 状態

デジタル出力の現在の状態を表示します。出力ONの場合は「緑色」に、出力OFFの場合は「赤色に」セルの色が変わります。

4 制御

デジタル出力を制御します。入力窓に動作までの時間を秒指定します。
入力がない場合は0秒指定として直ちに動作します。
制御実行前に以下の確認画面を表示します。
「X」をONします。(Xはポート番号)
「X」をOFFします。(Xはポート番号)

06-7 ログ・イベント

●接続されている各センサー及び電源制御、デジタル入出力のログを表示します。
また、監視装置全体のイベント内容を表示します。

06-7-1 温度・湿度ログ

●「温度・湿度ログ画面」では、温度・湿度計測値ログをグラフ表示します。

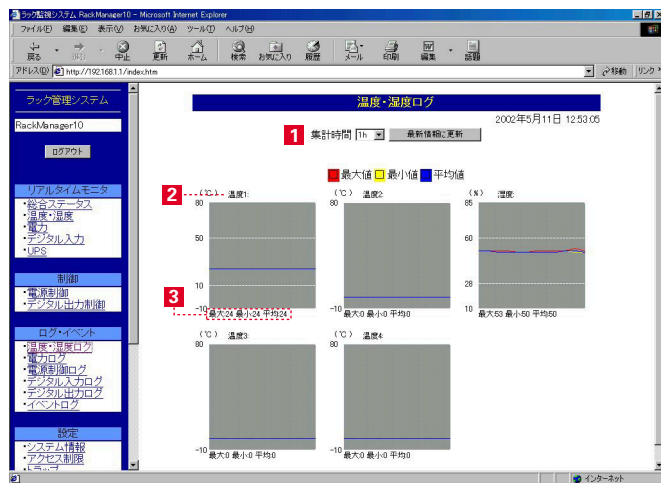



図 06-7-1 温度·湿度ログ画面

画面の説明
1 集計時間(プルダウン) グラフの時間軸(横軸)の設定です。設定は1時間·6時間·12時間·24時間から選ぶことができます。 デフォルトの設定値は1時間になっています。
2 名前表示 設定項目で設定されたポート名を表示します。
3 計測値 グラフの下に指定時間内の最大値「赤色」、最小値「黄色」、平均値「青色」でグラフ表示します。

●電力計測値ログを表示します。電力監視ポートの番号を選択します。

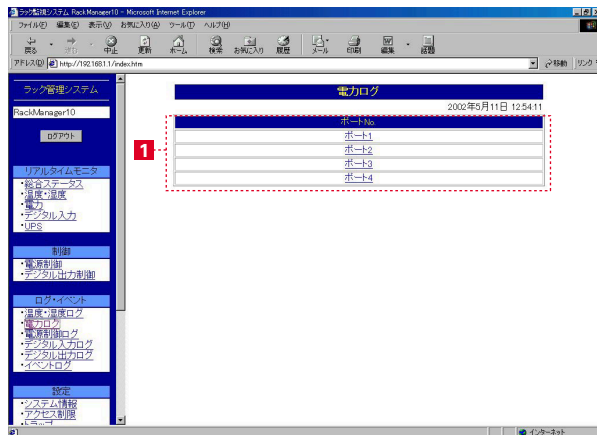



図 06-7-2 電力ログ画面

画面の説明
1 ポート番号 電力監視ポートの番号を表示します。

●「電力ログ画面」では、電力計測値ログをグラフ表示します。

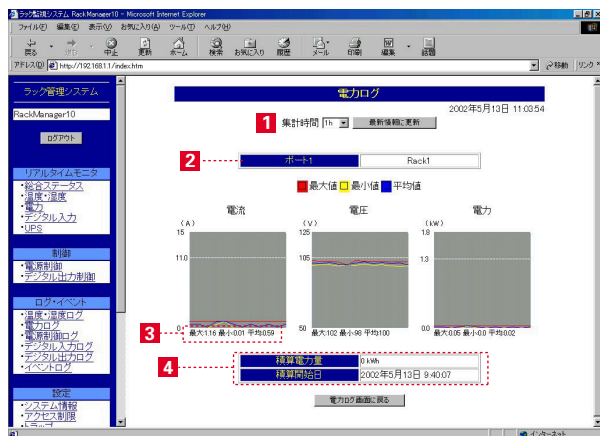



図 06-7-3 電力ログ画面

画面の説明

1 集計時間(プルダウン)
グラフの時間軸(横軸)の設定です。設定は1時間･6時間･12時間･24時間から選ぶことができます。
デフォルトの設定値は1時間になっています。

2 名前表示
設定項目で設定されたポート名を表示します。

3 計測値
グラフの下に指定時間内の最大値「赤色」、最小値「黄色」、平均値「青色」でグラフ表示します。

4 積算電力量
電力ポート設定項目の「積算電力のリスタート」ボタンをクリックした時点からの積算電力量を表示します。
積算開始日は、「積算電力のリスタート」ボタンをクリックした時点から始まります。

●「電源制御ログ画面」では、電源制御の動作変化を表示します。

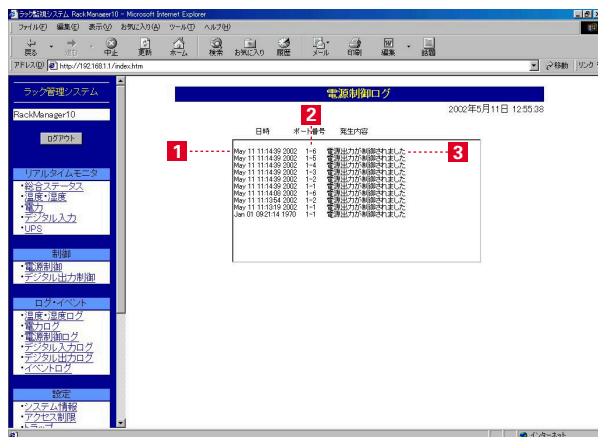



図 06-7-4 電源制御ログ画面

画面の説明

1 日時
電源制御ユニットの制御を行った日時を表示します。

2 ポート番号
「1-1」は、電源制御ユニット1の1番目のコンセントを指します。
「1-all」は、電源制御ユニット1の全てのコンセントを指します。
「all」は、全制御ユニットの、全てのコンセントを指します。

3 発生内容
動作変化を表示します。

●保存件数は、100件まで保存(表示)することができます。

06-7-5 デジタル入力ログ

●「デジタル入力ログ画面」では、デジタル入力ポートの状態変化を表示します。

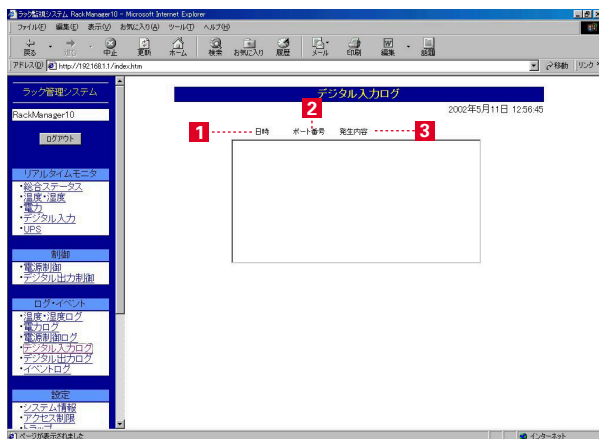



図 06-7-5 デジタル入力ログ画面

画面の説明
1 日時 デジタル入力の操作を行った日時を表示します。
2 ポート番号 操作を行ったポート番号を表示します。
3 発生内容 変化後の状態を表示します。

●保存件数は、100件まで保存（表示）することができます。

06-7-6 デジタル出力ログ

●「デジタル出力ログ画面」では、デジタル出力ポートの動作変化を表示します。

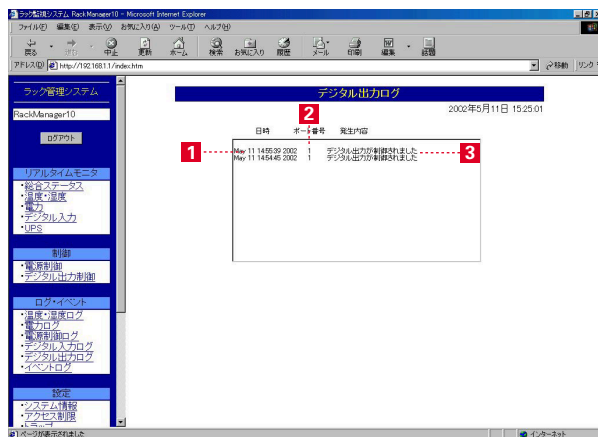



図 06-7-6 デジタル出力ログ画面

画面の説明
1 日時 デジタル出力の操作を行った日時を表示します。
2 ポート番号 操作を行ったポート番号を表示します。
3 発生内容 動作変化を表示します。

●保存件数は、100件まで保存（表示）することができます。

●「イベントログ画面」では、イベントログを表示します。

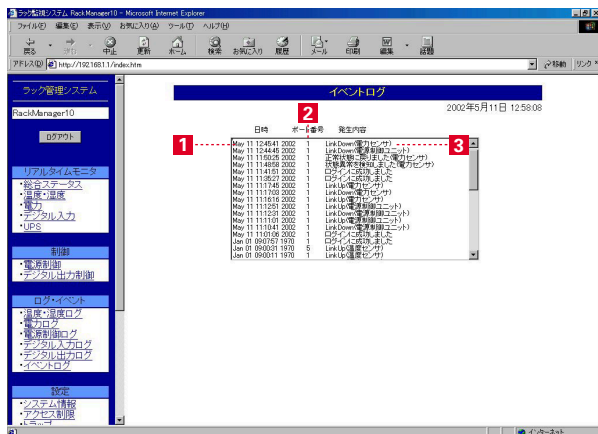



図 06-7-7 イベントログ画面

画面の説明
1 日時 過去24時間のイベント発生日時を表示します。
2 発生元 イベント発生元を表示します。
3 発生内容 イベント内容を表示します。

06-8 設定

●本装置のシステム及び接続されているポート等、各項目の設定を行います。

06-8-1 システム情報設定

●「システム情報設定画面」では、システムに関する各情報の表示や変更を行います。

設定可能文字数
IPアドレス・メールアドレスを除く名称、ポート名などの入力可能文字数は英数半角255文字までとなります。

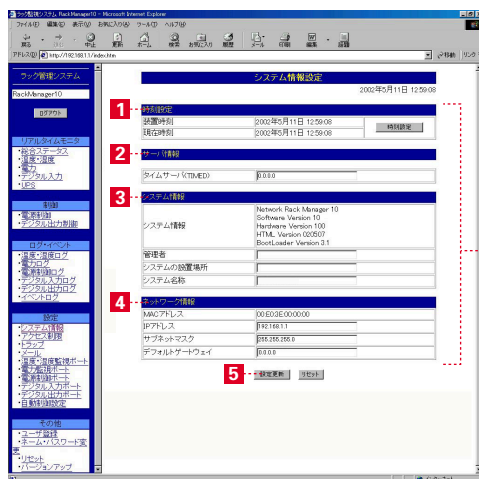



図 06-8-1 システム情報画面

画面の説明

1 時刻設定
本装置の時間をアクセス中のコンピュータの時間に合わせます。
装置時刻：本装置に設定されている時間を表示します。
現在時刻：Webブラウザでアクセス中のコンピュータの時刻を表示します。
時刻設定ボタン：時刻設定を実行したい場合にクリックします。

ご注意
本装置の電源を切ると
時間は出荷時にもどります。

2 サーバ情報　「タイムサーバ」が設定できます。デフォルトは0.0.0.0です。

3 システム情報
「システム情報」には本装置名、ソフトウェアバージョン、ハードウェアバージョンが表示されます。
「管理者」「システムの設置場所」「システム名称」が設定できます。

4 ネットワーク情報
「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」が設定できます。
設定変更後、本体をリセット後より反映されます。
デフォルトは IPアドレス　192.168.1.1
サブネットマスク　255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ　0.0.0.0　です.

5 設定更新ボタン
変更箇所入力後、クリックすると「ネットワーク情報」以外は設定が変更されます。
設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

●「アクセス制限設定画面」では、セキュリティ関連の設定を行います。

図 06-8-2 アクセス制限設定画面

画面の説明
1 SNMPエージェント機能 SNMPエージェント機能を設定します。デフォルトは「無効」です。 設定変更後、本体をリセット後に有効になります。
2 SET コミュニティ名 SNMPマネージャからアクセスする場合の現在設定されているSETコミュニティ名を表示します。 デフォルトは「private」になっています。
3 GET コミュニティ名 SNMPマネージャからアクセスする場合の現在設定されているGETコミュニティ名を表示します。 デフォルトは「public」になっています。
4 セキュリティ設定 本装置へのアクセスを制御するための設定です。 有効を選択した場合、5項で設定したIPアドレスからのアクセスのみ有効になります。 設定変更後、本体をリセット後に有効になります。
5 アクセスを許可するマネージャ 本装置にアクセスを許可するマネージャのIPアドレスを設定します。設定変更後、本体をリセット後に有効になります。
6 設定更新ボタン　人力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所人力前にもどります。

06-8-3 トラップ設定

●「トラップ設定画面」では、SNMPのトラップ設定を行います。

図 06-8-3 トラップ設定画面

画面の説明
1 トラップコミュニティ名 現在設定されているトラップコミュニティ名を表示します。デフォルトは「public」になっています。
2 トラップ送信先 現在設定されているトラップ送信先と送信回数を表示します。設定変更後に有効になります。
3 有効にするトラップの選択 トラップ送信のトリガーとなるイベントを選択できます。 ここでの設定内容は「メール設定」にも自動的に反映されます。
4 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

●「メール設定画面」では、メールに関しての設定を行います。

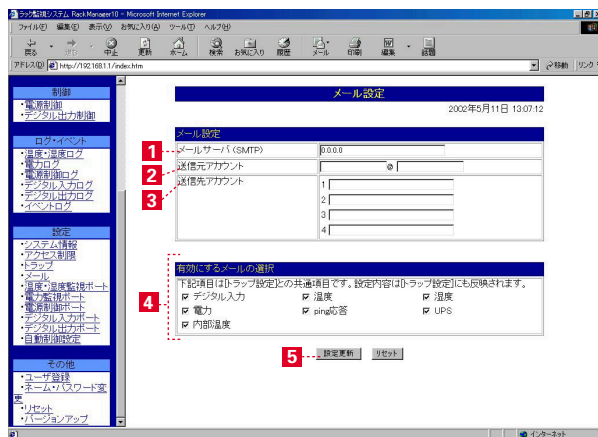



図 06-8-4 メール設定画面

画面の説明
1 メールサーバ 現在設定されているSMTPサーバアドレスを表示、設定します。デフォルトは0.0.0.0です。
2 送信元アカウント 送信元のアカウントを設定します。設定後アカウント名がメニューフレームに表示されます。 入力可能文字数　ユーザ名:英数半角31文字　ドメイン名:英数半角63文字
3 送信先アカウント メール送信先を設定します。 入力可能文字数　英数半角255文字
4 有効にするトラップの選択 トラップ送信のトリガーとなるイベントを選択できます。 ここでの設定内容は「メール設定」にも自動的に反映されます。
5 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

06-8-5 温度・湿度監視ポート設定

●「温度・湿度監視ポート設定画面」では、温度・湿度監視ポートの設定を行います。

図 06-8-5 温度･湿度監視ポート設定画面

画面の説明

1 ポート名

センサーに分かりやすい別名を設定することができます。

2 監視範囲

温度・湿度の測定範囲を表示します。設定の変更はできません。

3 下限値

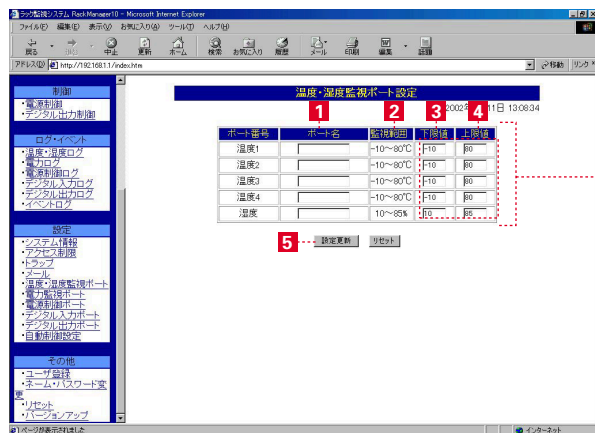
異常検出値の下限を設定することができます。デフォルトは温度－10、湿度10です。

4 上限値

異常検出値の上限を設定することができます。デフォルトは温度80、湿度85です。

5 設定更新ボタン

入力後、クリックすると設定が変更されます。
設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

●「電力監視ポート設定画面」では、電力監視ポートに関しての設定を行います。

設定可能文字数
ポート名の入力可能文字数は英数半角7文字までとなります。

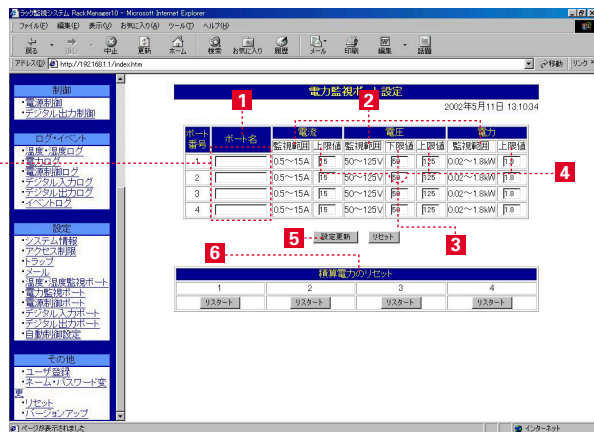



図 06-8-6 電力ポート設定画面

画面の説明

1 ポート名
センサーに分かりやすい別名を設定することができます。

2 監視範囲
電流・電圧・電力の測定範囲を表示します。設定変更はできません。

3 下限値
電圧の異常検出値の下限を設定することができます。デフォルトは電圧50です。

4 上限値
電流・電圧・電力の異常検出値の上限を設定することができます。デフォルトは電流15、電圧125、電力1.8です。

5 設定更新ボタン
入力後、クリックすると設定が変更されます。
設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

6 積算電力のリスタートボタン
積算電力値をリスタートし、新たに積算し直します。

06-8-7 電源制御ポート設定

●「電源制御ポート設定画面」では、電源制御ポートの設定を行います。

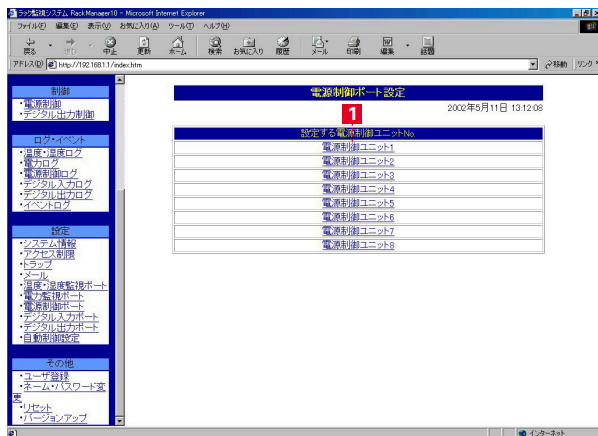



図 06-8-7 電源制御ポート設定画面

画面の説明

1 設定する電源制御ユニットNo.

変更したい電源制御ユニットを選択します。

06-8-8 電源制御ユニット設定

●「電源制御ユニット設定画面」では、各電源制御ユニットに関しての設定を行います。

図 06-8-8 電源制御ユニット設定画面

画面の説明

1 使用状態
設定する電源制御ユニットの接続状態を表示します。接続している場合はセルの色が「緑色」、接続されていない場合はセルの色が「黄色」に変色します。

2 接続端末名 接続されている端末名を設定します。

3 IPアドレス 接続された機器の死活監視(Ping送信)を行う場合、機器のIPアドレスを設定します。

4 電源停止遅延時間
〔制御〕-〔電源制御〕-〔全電源制御ユニット制御〕項の「全コンセント出力OFF」及び、〔個別制御〕-〔各電源制御ユニット〕の「全コンセントOFF」セット時のボタンクリックから出力が停止されるまでの時間を設定します。

5 電源開始遅延時間
「全電源制御ユニット出力ON」及び各電源制御ユニットの「全コンセントON」セット時のボタンクリックから出力が開始されるまでの時間を設定します。

6 死活監視カウント
状態異常を判定する回数を設定します。入力後、設定更新ボタンをクリックするとPing送信を開始します。

7 初期状態 各コンセントの「ON」、「OFF」の初期状態を設定できます。デフォルトは「ON」です。

8 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。
設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

9 電源制御ポート設定に戻る 電源制御ポート設定画面にもどります。

06-8-9 デジタル入力ポート設定

●「デジタル入力ポート設定画面」では、デジタル入力ポートに関しての設定を行います。

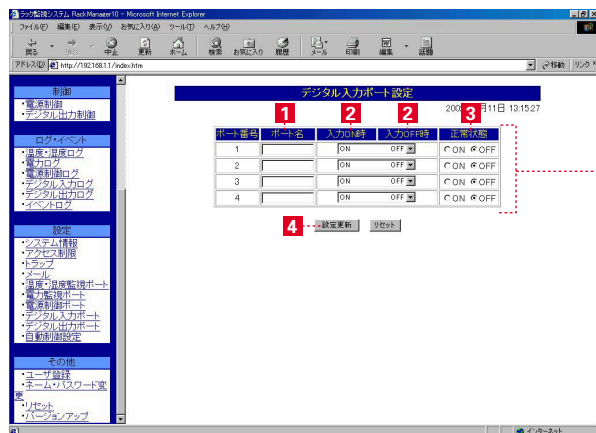



図 06-8-9 デジタル入力ポート設定画面

画面の説明
1 ポート名 センサーに分かりやすい別名を設定することができます。
2 入力ON時、入力OFF時 状態表示の表示文字列を選択します。デフォルトは「ON　OFF」です。
3 正常状態 入力ON時を正常とするか、入力OFF時を正常とするか設定することができます。 デフォルトでは、入力OFFが正常状態です。
4 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

06-8-10 デジタル出力ポート設定

●「デジタル出力ポート設定画面」では、デジタル出力ポートに関しての設定を行います。

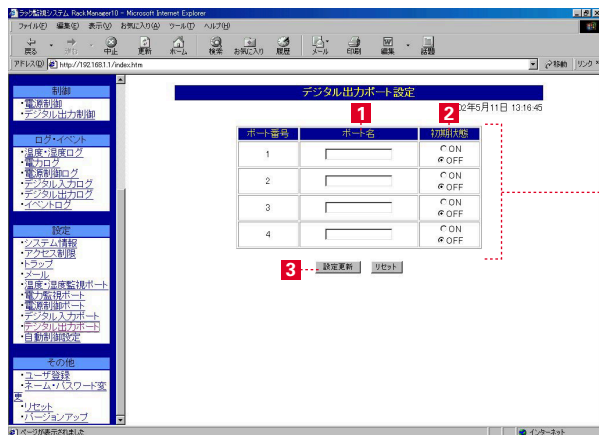



図 06-8-10 デジタル出力ポート設定画面

画面の説明
1 ポート名 センサーに分かりやすい別名を設定することができます。
2 初期状態 ポートの初期状態を設定します。デフォルトは「OFF」です。
3 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

●各センサーの状態変化時にデジタル出力及び電源制御ユニットを自動的に制御します。

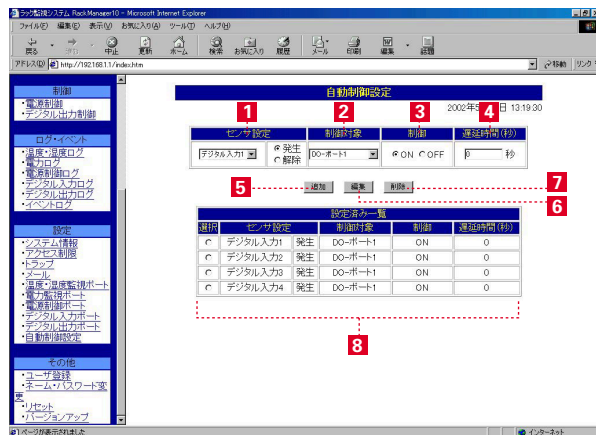



図 06-8-11 自動制御設定画面

画面の説明

1 設定するセンサ

自動制御対象のセンサをプルダウンメニューから選択します。

● 発生・解除ボタン
異常発生時に、制御する場合は「発生」をチェック、正常状態にもどった時に、制御する場合は「解除」をチェックしてください。

2 制御対象

1で設定したセンサに連動して制御するデジタル入力ポートと電源制御ユニットの各コンセントをプルダウンメニューから選択できます。

3 制御

ON制御、OFF制御の設定ができます。

4 遅延時間(秒)

制御を開始するまでの時間を設定できます。

5 追加

1～4で設定した新規自動制御内容を追加するときにクリックします。

6 編集

設定済み一覧の項目を編集できます。編集する項目を選択して(■)、設定を変更後、編集ボタンをクリックします。

7 削除

設定済み一覧の項目を削除できます。削除する項目を選択して、削除ボタンをクリックします。

8 設定済み一覧

自動制御の設定一覧です。80項目まで設定できます。

06-9 その他

●本装置にアクセスするユーザの登録、マネージャの設定変更及び設定内容のリセット、ソフトのバージョンアップを行います。

06-9-1 ユーザ登録

本装置にアクセスを許可するユーザ(USERレベル)を設定します。

図 06-9-1 ユーザ登録画面

画面の説明
1 ユーザ名 ユーザ名を入力します。
2 パスワード 任意のパスワードを入力します。
3 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

マネージャの設定を変更します。

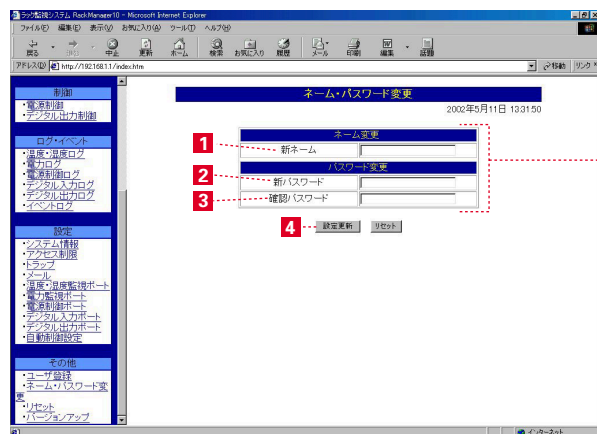



図 06-9-2 ネーム・パスワード変更画面

画面の説明
1 新ネーム 任意の新しい名前を入力します。
2 新パスワード 新しいパスワードを入力します。
3 確認パスワード 確認のため新しいパスワード再度を入力します。旧ネームと旧パスワードが現在設定されている内容と一致しない場合は、設定の変更はできません。
4 設定更新ボタン 入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定更新ボタンをクリックする前に、リセットボタンをクリックすると、変更箇所入力前にもどります。

「リセット画面」では、設定されている情報をリセットします。

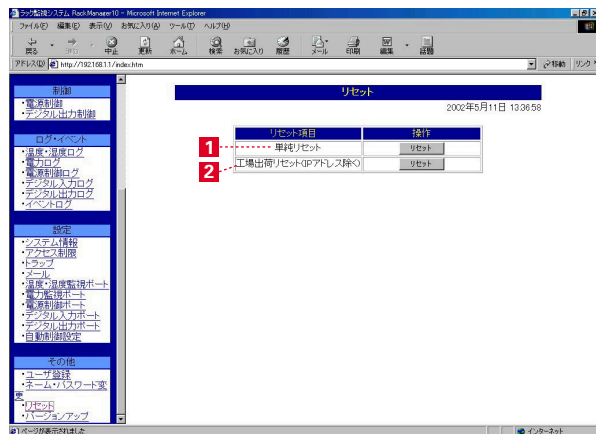



図 06-9-3 リセット画面

画面の説明

1 単純リセット

単純リセットします。リセット実行前に以下の確認画面を表示します。
本体コントローラを単純リセットします。
リセット実行時、web接続は強制的に切断されますので、再ログインが必要となります。
[OK] [キャンセル]

2 工場出荷リセットexcept IP

工場出荷時の設定に戻ります。(IPアドレス以外)リセット実行前に以下の確認画面を表示します。
本体コントローラを工場出荷リセット(IPアドレス設定を除く)します。
リセット実行時、web接続は強制的に切断されますので、再ログインが必要となります。
[OK] [キャンセル]

「バージョンアップ画面」では、本装置のソフトをバージョンアップします。

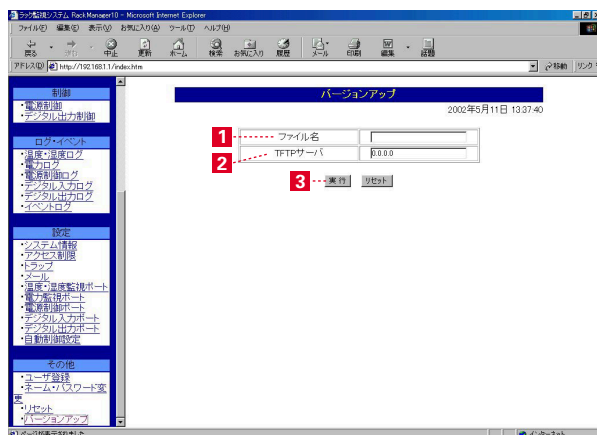



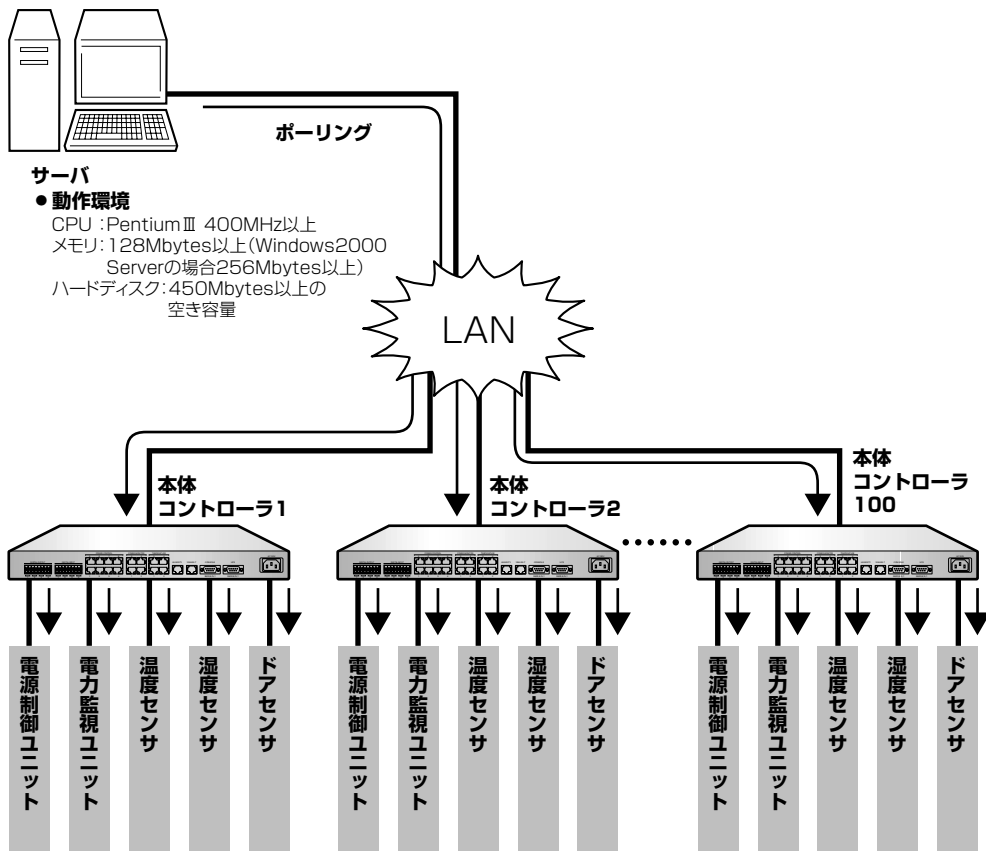
図 06-9-4 バージョンアップ画面

画面の説明
1 Operation　File Name ダウンロードするソフトウェアのファイル名を入力します。
2 TFTP Server Address ダウンロードするソフトウェアの置いてあるTFTPサーバーのIPアドレスを入力します。
3 設定実行ボタン 入力後、クリックすると設定が実行されます。 バージョンアップ実行時に以下の確認画面を表示します。 ファームウェアのバージョンアップを行います。 [OK] [キャンセル]

07 統合管理

Integration Manage

07-1 機能概要

●ネットワーク上のすべての本体コントローラを統合管理します。
●日報、週報、月報を作成します。
●CSV形式で保存します。

ご注意

●統合管理する場合は本体コントローラのSNMPアクセスの設定をenabledに設定変更してください。
出荷時はdisabled(無効)になっています。
設定変更は、コンソールの場合 05-1-5 SNMP設定 、webの場合 06-8-2 アクセス制御設定 を参照してください。

07-2　インストール方法

●統合管理ソフトをインストールします。

07-2-1　Windows2000の場合

セットアップは、本ソフトウェアのセットアップと同時にJavaの実行環境(以下J2REと表記)と、
WEBサーバ(Tomcat)をインストールします。

セットアップは以下の順番で行われます。

① Java(TM)2 Runtime Environment国際化版のインストール
② Tomcatのインストール
③ 統合管理ソフトのインストール

1．インストール

① 本装置に付属のCD-ROMをドライブに挿入します。
② CD-ROM内にあるインストールプログラムを起動します。
　tohgokanri￥Windows￥Setup.exe
③ インストーラにしたがいインストールを開始します。
④ 正常にインストールが終了するとメンテナンスの完了画面が表示されるので、完了ボタンをクリックして終了します。
⑤ セットアップ終了後、次のようなアイコンがスタートメニューに登録されます。
　・統合管理ソフトの開始
　・統合管理ソフトの削除
　・統合管理ソフトの停止

2．アンインストール

① スタートメニューから「統合管理ソフトの削除」を起動します。
② アンインストーラにしたがいインストールを開始します。
③ 正常にアンインストールが終了すると完了画面が表示されるので、完了ボタンをクリックして終了します。

07-2-2　RedHat Linuxの場合

セットアップは、本ソフトウェアのセットアップと、Javaの実行環境(Java2(TM) Runtime Environment
以下J2RE(TM)と表記)と、WEBサーバ(Tomcat)をインストールします。

1．プログラムモジュールのコピーとセットアップの準備

① rootユーザでログインし、CDROMから以下のファイルをコピーします。

```
cp  <CDROM> tohgokanri/free/i386/rm_redhat.tar   / tmp
```

② プログラムモジュールを展開します。

```
tar  xvf  /tmp/rm_redhat.tar
```

「/tmp/rm_redhat」ディレクトリが作成され、その下に、統合管理ソフトのモジュール、J2RE(TM)のモジュール、および、Tomcatのモジュールが展開されます。

2. セットアップの実行

① セットアップの開始

```
/tmp/rm_redhat/INSTALL
```

を実行すると、セットアップを開始します。

② インストールの手順

「INSTALL」実行後、画面に次の内容が表示されますので、必要事項を入力し、「Enter」キーを押してください。

TOHGO Directory(Default=/usr/local/tohgo)：統合管理ソフトをインストールするディレクトリを入力します。

J2RE(TM) Directory(Default=/usr/local/j2re)：J2RE(TM)をインストールするディレクトリを入力します。

Tomcat Directory(Default=/var/tomcat)：Tomcatをインストールするディレクトリを入力します。

※各ディレクトリは、それぞれ専用のディレクトリを指定してください。
何も入力せずに、「Enter」キーを押すと、デフォルトの値が設定されます。

インストールするディレクトリを指定した後、下記の通り確認メッセージがでますので、「y」または「yes」でインストールを開始し、「n」または「no」でインストールを中止します。

TOHGO Software install

start OK？

([y]yes/[n]no)

インストール完了後、コンピュータを再起動させると、統合管理サービスが開始されます。

3.アンインストール

① アンインストールの実行

統合管理ソフトのインストール先(Default=/usr/local/tohgo)の「UNINSTALL」を実行します。

/ usr/local/tohgo/UNINSTALL

アンインストール完了後、必ず本体を再起動してください。

※統合管理ソフト、J2RE(TM)、 Tomcatのすべてのモジュールに加え、それまでに収集したデータもすべて削除されますので、注意してください。

商標について

・Java、およびすべてのJavaに関する標章は、米国及びその他の国における米国SunMicrosystems,Incの商標または登録商標です。

・Windows、WindowsNT、Windows2000は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

・その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標及び登録商標です。

・This product includes software developed by the Apache Software Foundation
〈http://www.apache.org/〉

・Apacheライセンス
Apacheのライセンスを、よく読んでからご使用ください。

07-3 ログインする場合

●ブラウザーからログインするためには、以下の内容をブラウザーアドレス部分に入力します。
（1）本ソフトがインストールされている端末からログインする場合
　http://localhost:8080/tohgo/servlet/index
（2）その他の端末からログインする場合
　http://本ソフトがインストールされている端末のIPアドレス:8080/tohgo/servlet/index

入力後、図 07-3-1 のようなログイン画面が表示されます。ユーザ名・パスワードを入力してください。出荷時のユーザ名・パスワードの設定は「manager」となっていますので、各項目に「manager」と入力し、「OK」を押してください。画面が表示されない時は、通信条件等の設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

●ユーザ名・パスワードが合致しない場合は「入力エラーがあります」と表示されますので、正しいユーザ名・パスワードを入力してください。

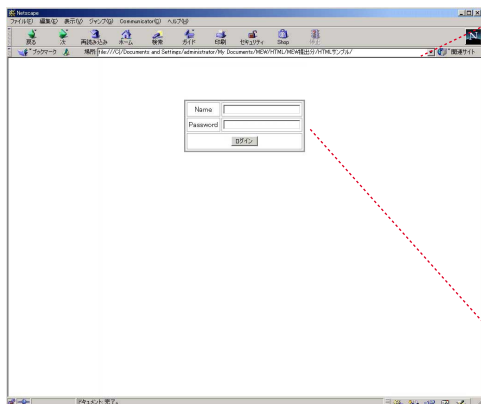



図 07-3-1 ログイン画面（ブラウザー）

	認定可能数	デフォルト値	閲覧可能項目	設定ページ
マネージャレベル	1	Name : manager Password: manager	全てのページ	「サーバ設定」項目<ネーム･パスワード変更>
ユーザレベル	5	なし	「個別管理」項目 「統合管理」項目	「サーバ設定」項目<ユーザ登録>

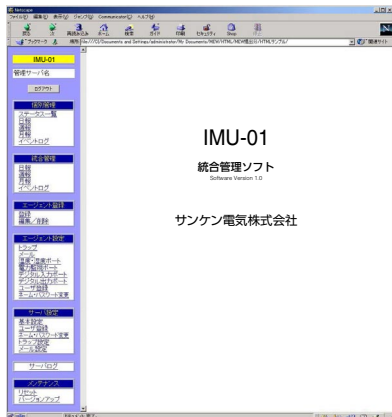



図 07-3-2 ログイン後の画面

07-4 ログアウトする場合

●ログアウトするには左側メニューからから「ログアウト」ボタンを押し、終了させてください。

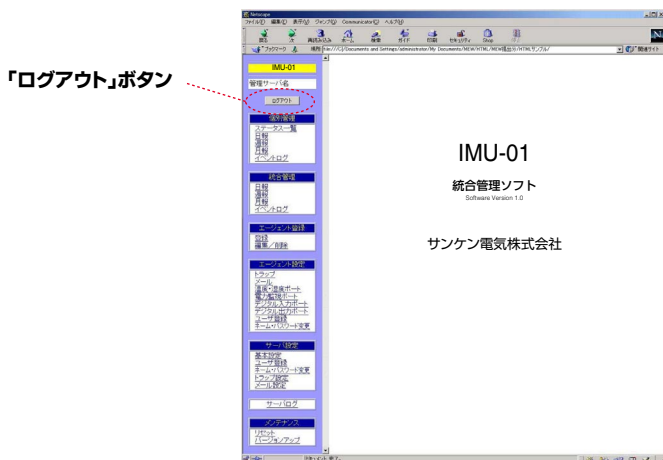
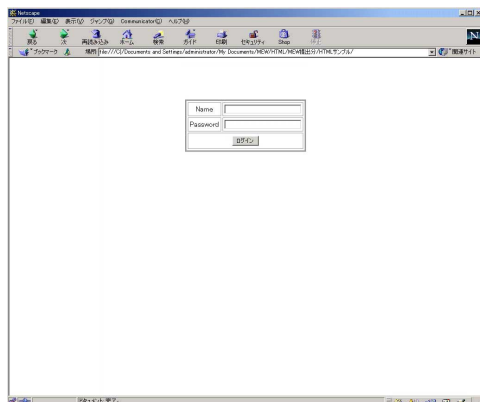
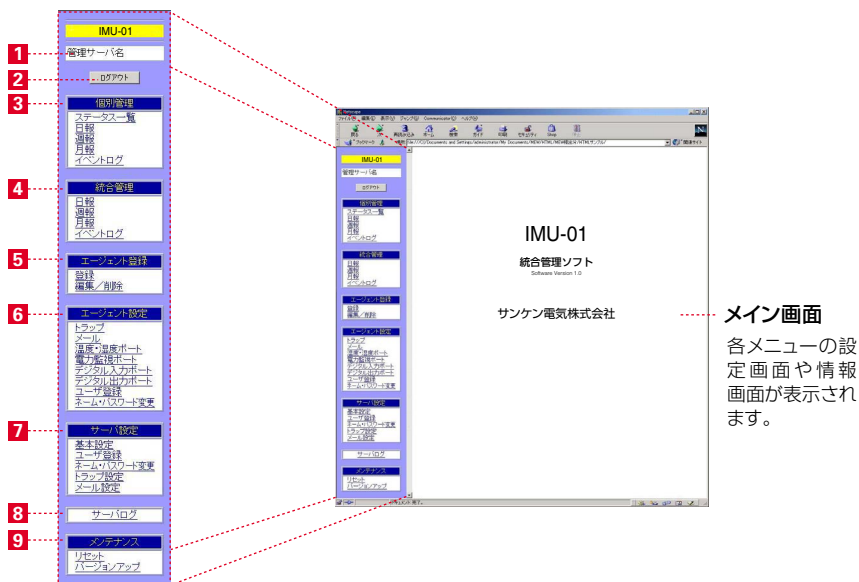



図 07-4 ログイン中の画面

●「ログアウト」ボタンをクリックすると下記画面に変わります。

07-5 操作画面について

●本製品の画面は、次のような構成になっています。

画面の説明		閲覧の可否	
		マネージャ	ユーザ
1「サーバ名」表示枠	設定したサーバ名が表示されます。 設定は「サーバ設定」-［基本設定］から行います。	○	○
2「ログアウト」ボタン	操作を終了する場合にクリックします。 操作終了時に「ログアウトしました」と、メーッセージが表示されます。	○	○
3 個別管理	登録エージェントが一覧表示され、ステータス情報表示と各エージェントの【日報、週報、月報、イベントログ】を表示します。	○	○
4 統合管理	登録された全エージェントの【日報、週報、月報、イベントログ】を一覧表示します。	○	○
5 エージェント登録	エージェントの個別／一括登録と編集／削除を実行します。	○	×
6 エージェント設定	指定したエージェントまたは全エージェントの設定を一括変更します。 ●設定項目：【トラップ、メール、温度・湿度ポート、電力監視ポート、デジタル入力ポート、デジタル出力ポート】	○	×
7 サーバ設定	管理サーバの設定を実行します。 ●設定項目：【基本設定、ユーザー登録、ネーム・パスワード変更、トラップ設定、メール設定】	○	×
8 サーバログ	サーバのログを表示します。 ●項目：【サービスの開始と停止、メールの送信、トラップの送受信、設定更新記録】	○	×
9 メンテナンス	管理サーバから指定エージェントまたは全エージェントの【ファームウェアバージョンアップ】を実行します。	○	×

●注）ユーザ閲覧不可項目をクリックした場合は、「権限がありません」というポップアップメニューを表示します。
●注）エージェントとはラック管理システム本体コントローラのことです。

07-6 個別管理について ■権限:マネージャ／ユーザ

●登録エージェントが一覧表示され、ステータス情報表示と各エージェントの【日報、週報、月報、イベントログ】を表示します。

07-6-1 個別管理「ステータス一覧」

●登録されたエージェントの
ステータス情報を一覧表示します。

図 07-6-1 個別管理[ステータス一覧]画面

画面の説明

■機能

登録されたエージェントのステータス情報を表示します。
IPアドレスをクリックすることにより、各エージェントのWeb画面を表示します。

●表示項目：
1 No. ………………………… 登録された順番に表示されます。
2 ステータス(※1)…………… エージェントのステータス情報を表示します。
3 名前 ………………………… 登録値を表示します。
4 IPアドレス ………………… 登録値を表示します。
5 GETコミュニティ名 ……… 登録値を表示します。
6 SETコミュニティ名 ……… 登録値を表示します。

7 表示間隔

「30秒」、「60秒」、「120秒」から選択できます。
※デフォルト値は「60秒」になっています。

8 最新情報に更新

表示間隔に関わらず、ボタンをクリックすると最新情報に更新されます。

2【ステータス(※1)】表示

定期ログ収集時のステータス状態を表示します。

表示色	状態	原因
◎ 緑	ステータス正常	—
◎ 赤	ステータス異常	アラームが発生中
◎ オレンジ	通信異常	エージェントと通信ができない

●日報を表示するエージェントを指定します。（日報／週報／月報／イベントログ 共通イメージ）

選択	No.	名前	IPアドレス	GETコミュニティ名	SETコミュニティ名
◉	1	nrm-1	192.168.10.180	public	private
○	2	123	192.43.189.61	public	private
○	3	nrm-2	192.168.10.63	public	private
○	4	nrm10	192.168.10.61	public	private
○	5	nrm-11	192.168.50.10	public	private
○	6	nrm-12	192.168.50.11	public	private
○	7	nrm-13	192.168.50.12	public	private
○	8	nrm-14	192.168.50.13	public	private
○	9	nrm-15	192.168.50.14	public	private
○	10	nrm-16	192.168.50.15	public	private
○	11	nrm-17	192.168.50.16	public	private

図 07-6-2 個別管理[日報／週報／月報／イベントログ]画面
※画面は日報

画面の説明

■レポート表示の操作方法

●レポート表示するエージェントの選択BOXを選択する。
　※複数選択はできません。
●[表示ボタン]をクリックします。

■エージェント一覧表示

登録された内容とステータス情報を表示します。

●表示項目：
1 選択 ……………………… 複数選択することはできません。レポート対象エージェントを指定します。
2 No. ……………………… 登録された順番に表示します。
3 名前 ……………………… 登録された順番に表示します。
4 IPアドレス……………… 登録値を表示します。
5 GETコミュニティ名 …. 登録値を表示します。
6 SETコミュニティ名 …. 登録値を表示します。

07-6-3 日報の表示

●個別エージェントの日報の画面を表示します。

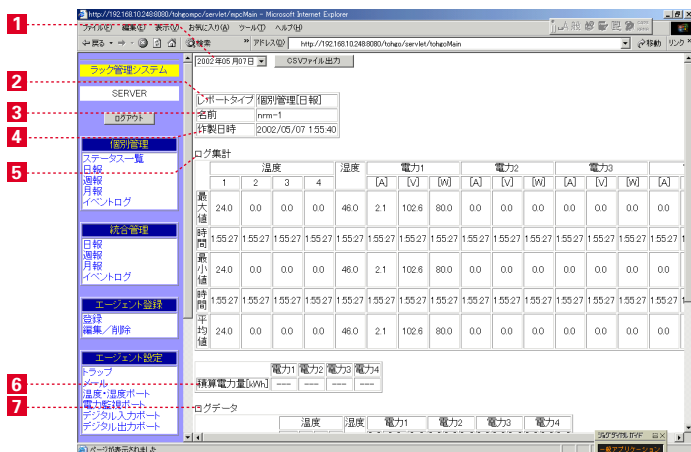



図 07-6-3 個別管理[日報]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「本日分」を表示します。
（本日とは、0：00以降～現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する日付を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 本日を含む30日分が表示されます。
2 レポートタイプ ……………… 個別管理の「日報」が表示されます。
3 名前 ……………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
4 作製日時 ……………………… レポートが作製された日時を表示します。
5 ログ集計項 …………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
6 積算電力 ……………………… 1日分の積算電力を表示します。
7 ログデータ …………………… 1日分のログデータを全て表示します。

●個別エージェントの週報の画面を表示します。

図 07-6-4 個別管理[週報]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「今週分」を表示します。
（今週とは、前月曜日0：00以降～本日現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する週を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 今週を含む5週間前までが表示されます。
（今週、先週、3週前、4週前、5週前）
2 計測期間……………………… 計測期間を表示します。
3 レポートタイプ ……………… 個別管理の「週報」が表示されます。
4 名前 ………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
5 作製日時 …………………… レポートが作製された日時を表示します。
6 ログ集計項 ………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
7 積算電力 …………………… 1週間分の積算電力を表示します。
8 ログデータ ………………… 各日ごとの「最大値」を表示します。

●個別エージェントの月報の画面を表示します。

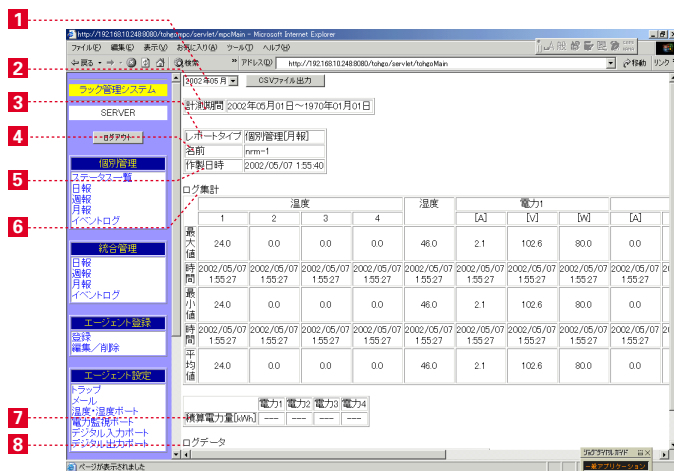



図 07-6-5 個別管理[月報]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「今月分」を表示します。
（今月とは、当月1日0：00以降～本日現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する年月を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ………… 保存指定した年月分が「200※年※月形式」で表示されます。
2 計測期間 ……………………… 計測期間が表示されます。
3 レポートタイプ ……………… 個別管理の「月報」が表示されます。
4 名前 …………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
5 作製日時 ……………………… レポートが作製された日時を表示します。
6 ログ集計項 …………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
7 積算電力 ……………………… 1カ月分の積算電力を表示します。
8 ログデータ …………………… 各日ごとの「最大値」を表示します。

●個別エージェントのイベントログの画面を表示します。

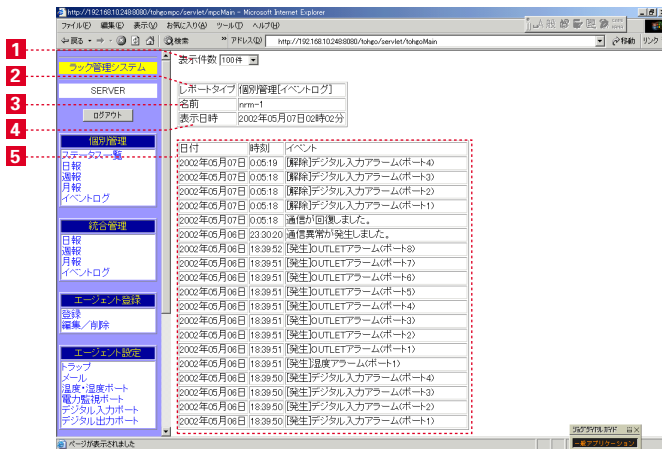



図 07-6-6 個別管理[イベントログ]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は100件分を表示します。
●プルダウンメニューで表示件数を変更することができます。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 表示する件数を指定します。
〔100件、300件、500件、全て（保存されている全指定件数分が全て表示されます。）〕
2 レポートタイプ ……………… 個別管理の「イベントログ」が表示されます。
（レポートが作製された日時も表示します。）
3 名前 ………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
4 表示日時 …………………… レポートが作製された日時を表示します。
5 イベント表示 ……………… 最新情報を最上段に指定件数分表示します。
（日付、時間、イベントを表示します。）

07-7 統合管理について ■権限：マネージャ／ユーザ

●登録された全エージェントの【日報、週報、月報、イベントログ】を一覧表示します。

07-7-1 統合管理「日報」

●全エージェントの指定日の「温度値」、「湿度値」、「電力値」の「最大／最小／平均値」を一覧表示します。

図 07-7-1 統合管理[日報]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「本日分」を表示します。
（本日とは、0：00以降〜現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する日付を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 本日を含む30日分が表示されます。
2 名前 ………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
3 作製日時 …………………… レポートが作製された日時を表示します。
4 ログ集計項 ………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
5 積算電力 …………………… 1日分の積算電力を表示します。

●全エージェントの指定週の「温度値」、「湿度値」、「電力値」の「最大／最小／平均値」を一覧表示します。

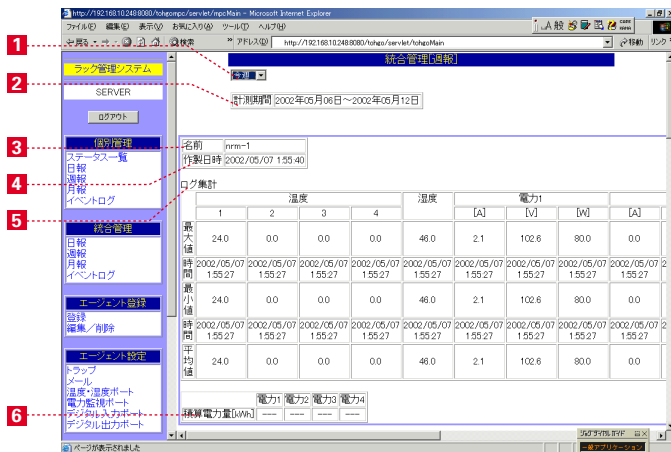



図 07-7-2 統合管理［週報］画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「今週分」を表示します。
（今週とは、前月曜日0：00以降～本日現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する週を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 今週を含む5週間前までが表示されます。
（今週、先週、3週前、4週前、5週前）
2 計測期間 …………………… 計測期間を表示します。
3 名前 ………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
4 作製日時 …………………… レポートが作製された日時を表示します。
5 ログ集計項 ………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
6 積算電力 …………………… 1週間分の積算電力を表示します。

●全エージェントの指定月の「温度値」、「湿度値」、「電力値」の「最大／最小／平均値」を一覧表示します。

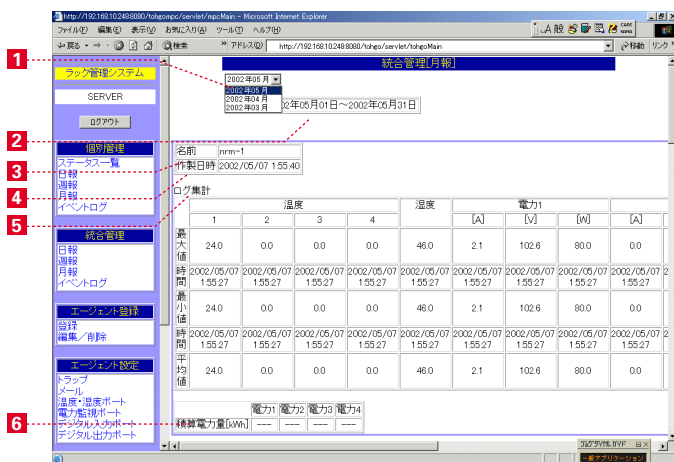



図 07-7-3 統合管理[月報]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は「今月分」を表示します。
（今月とは、当月1日0:00以降～本日現時間までを指します。）
●プルダウンメニューからレポート表示する年月を指定します。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 保存指定した年月分が「200※年※月形式」で表示されます。
2 計測期間 ……………………… 計測期間が表示されます。
3 名前 ……………………………… エージェントに設定された名前を表示します。
4 作製日時 ……………………… レポートが作製された日時を表示します。
5 ログ集計項 …………………… 最大値、最小値、平均値
（最大値、最小値については測定時間を表示します。）
6 積算電力 ……………………… 1カ月分の積算電力を表示します。

●指定したエージェントのイベントログの情報を一覧表示します。

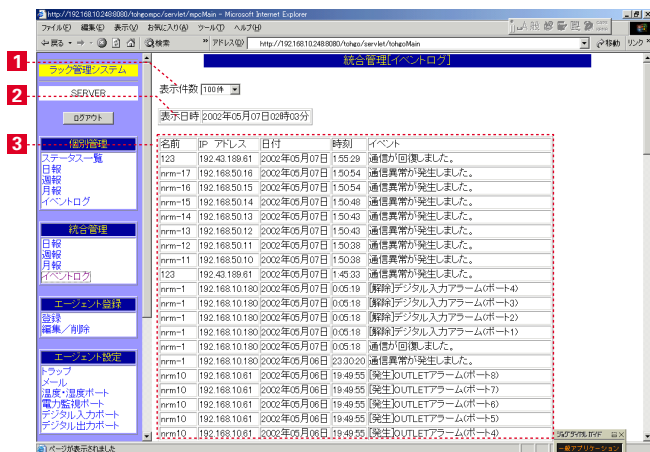



図 07-7-4 統合管理[イベントログ]画面

画面の説明

■操作

●初期表示は100件分を表示します。
●プルダウンメニューで表示件数を変更することができます。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 表示する件数を指定します。
〔100件、300件、500件〕デフォルトは100件です。
2 作製日時 …………………… レポートが作製された日時を表示します。
3 イベント表示 ……………… 最新情報を最上段に指定件数分表示します。
（名前、IPアドレス、日付、時間、イベントを表示します。）

07-8 エージェント登録について ■権限：マネージャ

●エージェントの個別／一括登録と編集／削除を実行します。

07-8-1 エージェント登録「登録」

●統合管理ソフトで管理するエージェントを登録します。　個別登録または、CSVファイルによる一括登録もできます。

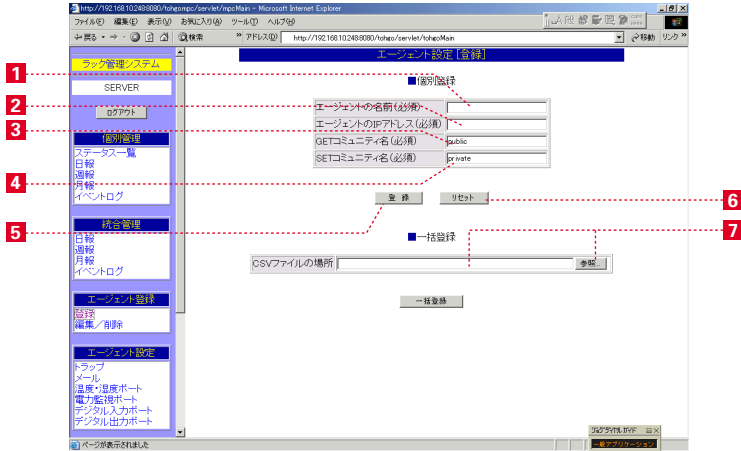



図 07-8-1 エージェント登録［登録］画面

画面の説明

■個別登録

1 エージェントの名前 ………………… 必須項目。入力可能文字数は20文字。
2 エージェントのIPアドレス ………… 必須項目。
3 GETコミュニティ名 ………………… デフォルトは「public」です。
4 SETコミュニティ名 ………………… デフォルトは「private」です。

5「登録」ボタンクリック時の動作

●入力制限チェック
→OKの場合、「登録を開始してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
同一の名前が登録されている場合は「すでに同一名で登録があります。」と表示されます。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、入力データをファイルに書き込みます。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻ります。
●登録終了後、標準の正常終了メッセージを表示します。

6「リセット」ボタンクリック時の動作

●入力した内容をクリアにします。

■一括登録

7 CSVファイルの場所に項目を入力するか、「参照」ボタンをクリックして指定します。
●ファイルの存在をチェック
→OKの場合、「登録を開始してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、「ファイルが見つかりません。」というエラーのポップアップメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、入力データをファイルに書き込みます。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●登録終了後、標準の正常終了メッセージを表示します。

07-8-2 エージェント登録「編集/削除」

●登録されているエージェントの設定変更または、削除を行います。

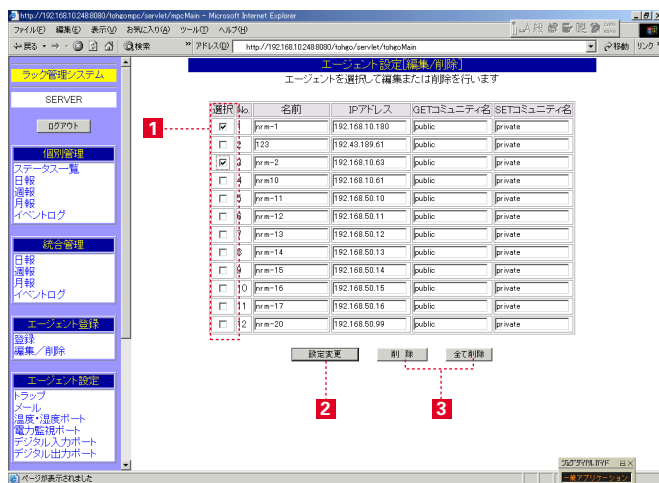



図 07-8-2 エージェント登録[編集／削除]画面

画面の説明

■操作

●設定変更／削除するエージェントを指定します。
●設定値を変更後[設定変更]ボタンをクリックします。削除する場合は、[削除」ボタンをクリックします。
　※全て削除したい場合は「全て削除」ボタンをクリックしてください。

2「設定変更」ボタン

●最低1つの1選択BOXが選択されていることを確認してください。
　→選択されていない場合、「エージェントを選択してください」という確認のポップアップメッセージを表示します。
●入力制限チェック
　→OKの場合、「設定を変更してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
　→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
　　同一の名前が登録されている場合は「すでに同一名で登録があります」と表示されます。
●確認のポップアップ画面で、
　→OKボタンをクリックした場合、入力データをファイルに書き込みます。
　→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●登録終了後、標準の正常終了メッセージを表示します。

3「削除」「全て削除」ボタン

●最低1つの1選択BOXが選択されていることを確認してください。
　→選択されていない場合、「エージェントを選択してください」という確認のポップアップメッセージを表示します。
●「削除」ボタンをクリックすると、「選択されたエージェントを削除してよろしいですか？」と言う確認のメッセージをポップアップ表示します。
　→OKボタンをクリックした場合、指定されたエージェントを削除します。
　→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻ります。
●登録終了後、標準の正常終了メッセージを表示します。

07-9 エージェント設定について ■権限：マネージャ

●指定したエージェントまたは全エージェントの設定を一括変更します。
設定の更新は、サーバ設定〔基本設定〕の計測データ収集間隔で設定した時間後に行います。
（デフォルトでは、10分後に更新します）

07-9-1 エージェント設定の表示

●複数エージェントの設定を一括して更新します。（エージェントの選択画面イメージは共通です。）

選択	No.	名前	IPアドレス	GETコミュニティ名	SETコミュニティ名
□	1	nrm-1	192.168.10.180	public	private
□	2	123	192.43.189.61	public	private
□	3	nrm-2	192.168.10.63	public	private
□	4	nrm10	192.168.10.61	public	private
□	5	nrm-11	192.168.50.10	public	private
☑	6	nrm-12	192.168.50.11	public	private
☑	7	nrm-13	192.168.50.12	public	private
☑	8	nrm-14	192.168.50.13	public	private
☑	9	nrm-15	192.168.50.14	public	private
☑	10	nrm-16	192.168.50.15	public	private
☑	11	nrm-17	192.168.50.16	public	private
☑	12	nrm-20	192.168.50.99	public	private

図 07-9-1 エージェント設定画面

画面の説明

■操作

●エージェントを選択します。
（1）特定エージェントの選択BOXをチェックします。
（2）「全てのエージェントを選択」ボタンをクリックします。
●「設定入力」ボタンをクリックします。

■表示項目

1 選択BOX …………………………… 複数選択が可能です。
2 全てのエージェントを選択 …… 全ての選択BOXがチェックされます。
3 設定入力 …………………………… 最低でも1つの選択BOXが選択されていることを確認します。
→OKの場合、各設定入力画面へ進んでください。
→選択されていない場合は「エージェントを選択してください」という確認のポップアップメッセージを表示します。

07-9-2　エージェント設定「トラップ」

●複数エージェントのトラップ設定値を一括変更します。

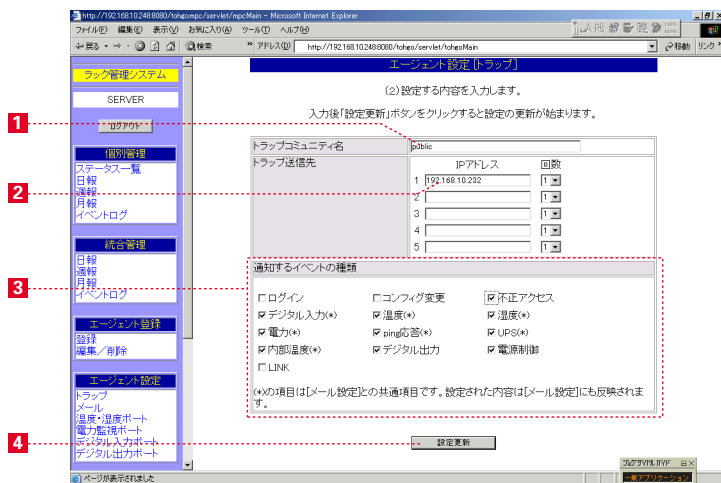



図 07-9-2 エージェント設定[トラップ]画面

画面の説明

■表示項目

1 トラップコミュニティ名 ……………… デフォルト値→public
2 トラップ送信先 ………………………… トラップ送信先のIPアドレスを入力します。
3 通知するイベントの種類 …………… 複数の選択が可能です。
（本項目の設定内容はメール内容に反映されます。）

4「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

●複数エージェントのメール設定値を一括変更します。

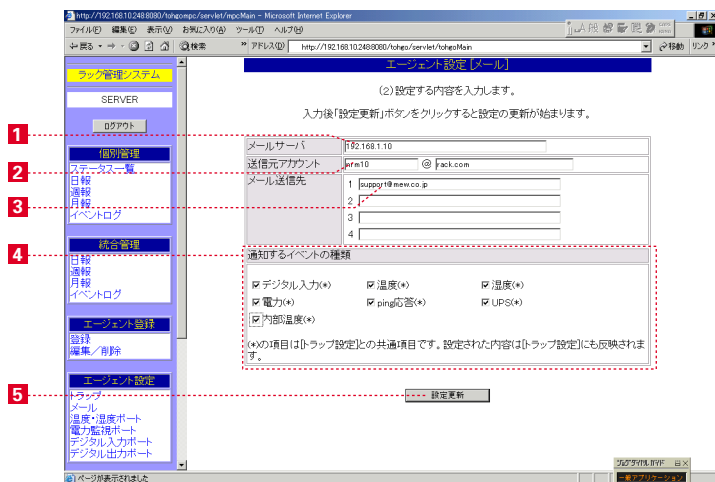



図 07-9-3 エージェント設定[メール]画面

画面の説明

■表示項目

1 メールサーバ ………………………… IPアドレスを入力します。
2 送信元アカウント …………………… メールアドレスを入力します。
3 メール送信先 ………………………… メールアドレスを入力します。
4 通知するイベントの種類 …………… 複数の選択が可能です。
（本項目の設定内容はメール内容に反映されます。）

5「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

●複数エージェントの温度・湿度設定値を一括して更新します。

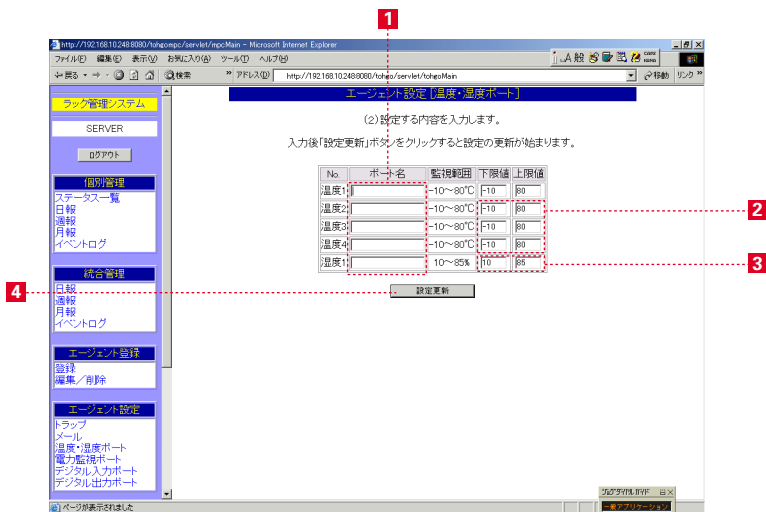



図 07-9-4 エージェント設定[温度・湿度ポート]画面

画面の説明

■表示項目

1 ポート名 ………… 半角英数7文字以内で入力してください。
2 温度 ……………… 上限値:数値を入力してください。(−10～80の範囲で入力してください。)
下限値:数値を入力してください。(−10～80の範囲で入力してください。)
3 湿度 ……………… 上限値:数値を入力してください。(10～85の範囲で入力してください。)
下限値:数値を入力してください。(10～85の範囲で入力してください。)

4「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

●複数エージェントの電力監視ポート設定値を一括変更します。

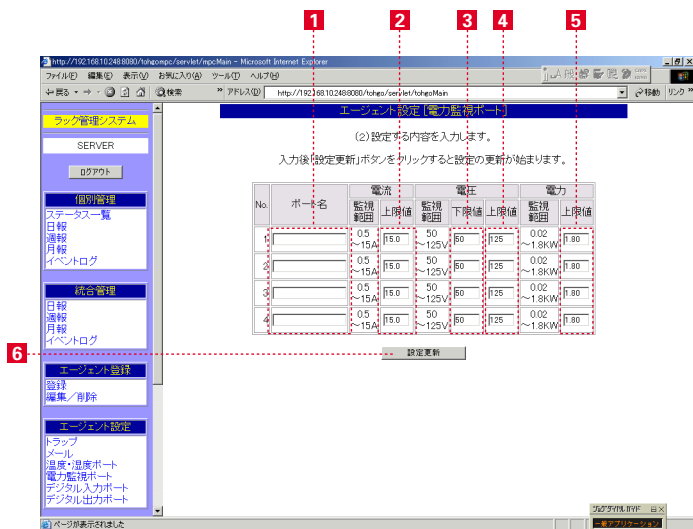



図 07-9-5 エージェント設定［電力監視ポート］画面

画面の説明

■表示項目

1 ポート名 ……………………………… 半角英数7文字以内で入力してください。
2 電流上限値 …………………………… 数値を入力してください。(0.5～15の範囲で入力してください。)
3 電圧上限値 …………………………… 数値を入力してください。(50～125の範囲で入力してください。)
4 電圧下限値 …………………………… 数値を入力してください。(50～125の範囲で入力してください。)
5 電力上限値 …………………………… 数値を入力してください。(0.02～1.8の範囲で入力してください。)

6「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
　→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
　→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
　→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
　→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

07-9-6 エージェント設定「デジタル入力ポート」

●複数エージェントのデジタル入力ポート設定値を一括して更新します。

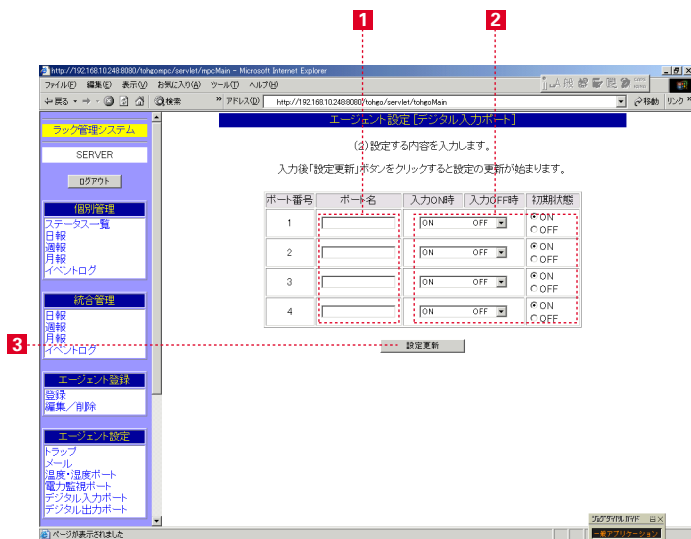



図 07-9-6 エージェント設定[デジタル入力ポート]画面

画面の説明

■表示項目

1 ポート名 ………… 半角英数7文字以内で入力してください。

2 表示 ……………… 入力ON時、入力OFF時の表示を対で選択します。
ON － OFF
OFF － ON
CLOSE － OPEN
OPEN － CLOSE
異常 － 正常
正常 － 異常
デフォルト：ON － OFF

3「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

●複数エージェントのデジタル出力ポート設定値を一括して更新します。

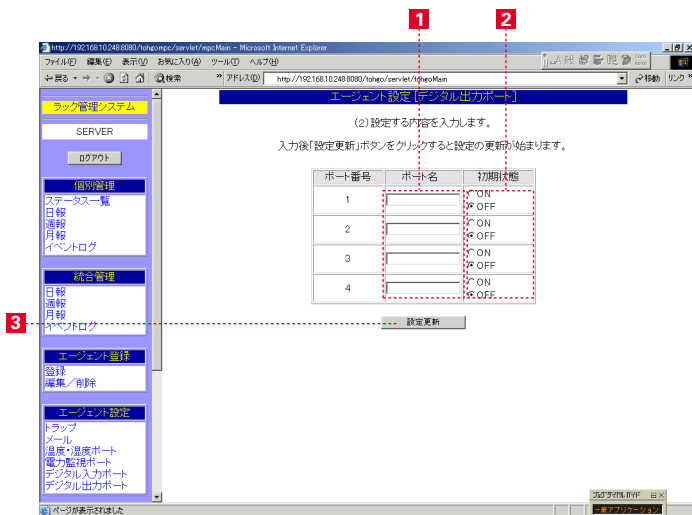



図 07-9-7 エージェント設定［デジタル出力ポート］画面

画面の説明

■表示項目

1 ポート名 ………………………………… 半角英数7文字以内で入力してください。
2 初期状態 ……………………………… デフォルト値→OFF

3「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
　→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
　→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
　→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
　→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます。」というポップアップメッセージを表示します。

07-10 サーバ設定について ■権限：マネージャ

●管理サーバの設定を実行します。

07-10-1 サーバ設定「基本設定」

●管理サーバの基本機能を設定します。

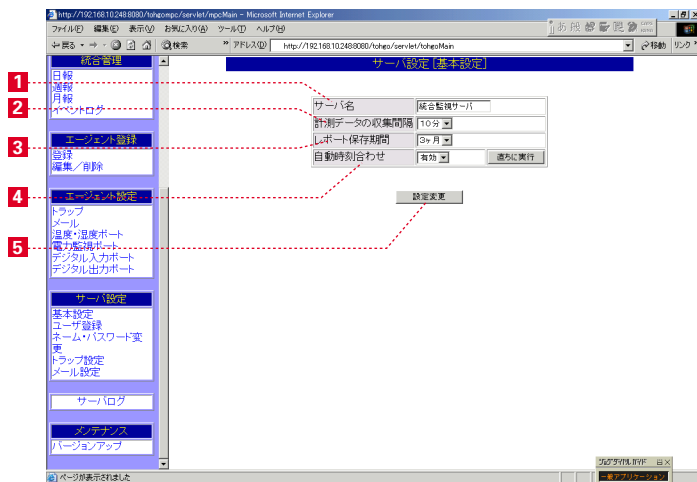



図 07-10-1 サーバ設定[基本設定]画面

画面の説明

■表示項目

1 サーバ名 ……………………………… 半角英数20文字以内で入力してください。
デフォルト値→ブランク

2 計測データの収集間隔 ……………… プルダウン（10分、15分、30分、60分）
デフォルト値→15分

3 レポート保存期間 …………………… 個別／統合管理の日報、週報、月報の保存期間。
プルダウン（3ヵ月、6ヵ月、1年、2年、3年）
デフォルト値→3ヵ月

4 自動時刻合わせ

プルダウンを「有効」にして、「直ちに実行」をクリックすると、エージェントの時刻を、本サーバの時刻に設定します。

5 「設定変更」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、標準の正常終了メッセージを表示します。

●管理システムにアクセスを許可するユーザを設定する。

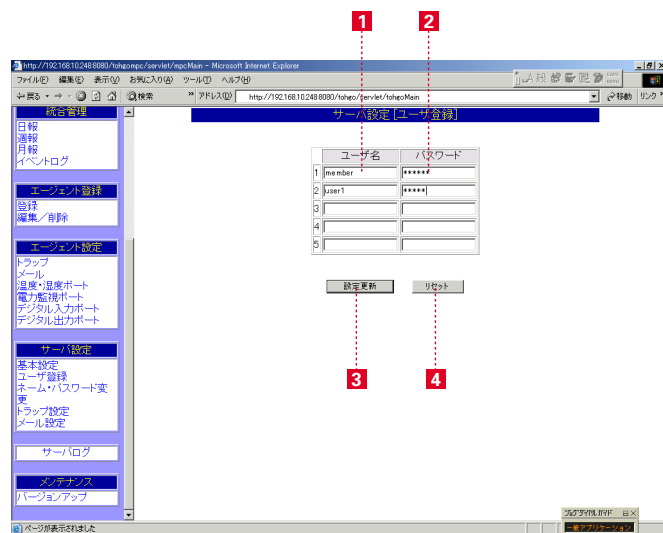



図 07-10-2 サーバ設定[ユーザ登録]画面

画面の説明

■表示項目

●ファイルオープン時にユーザがすでに登録されている場合は、ポップアップメッセージで表示されます。

1 ユーザ名 ………… 半角英数15文字以内で入力してください。

2 パスワード ……… 半角英数15文字以内で入力してください。
(パスワードを入力すると、[＊＊＊＊]と表示され、暗号化して保存されます。)

3「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、標準の正常終了メッセージを表示します。

4 リセット

●登録内容の再呼び込みをします。

●マネージャの名前とパスワードを変更します。

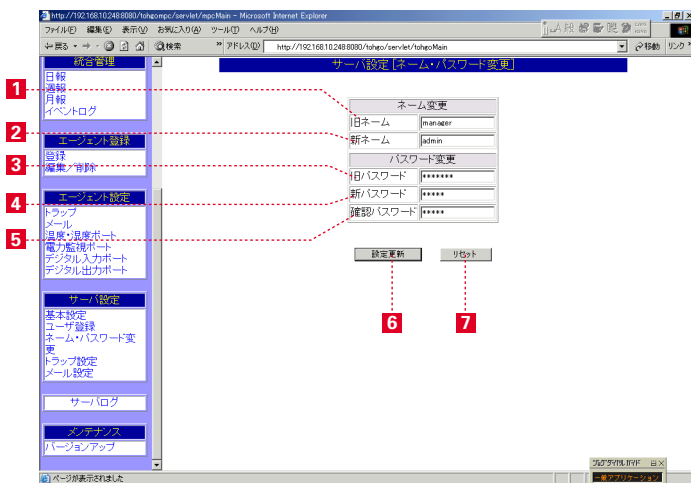



図 07-10-3 サーバ設定[ネーム･パスワード変更]画面

画面の説明

■表示項目

1 旧ネーム ………… 登録内容を表示します。
デフォルト値→manager
2 新ネーム ………… 半角英数15文字以内で入力してください。
3 旧パスワード ……. 登録内容を表示します。
デフォルト値→manager
4 新パスワード ……. 半角英数15文字以内で入力してください。
5 確認パスワード …. 確認のためにもう一度「新パスワード」を入力してください。

6「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、標準の正常終了メッセージを表示します。

7 リセット

●登録内容の再呼び込みをします。

07-10-4 サーバ設定「トラップ設定」

●複数エージェントの設定を一括して更新します。（エージェントの選択画面イメージは共通です。）

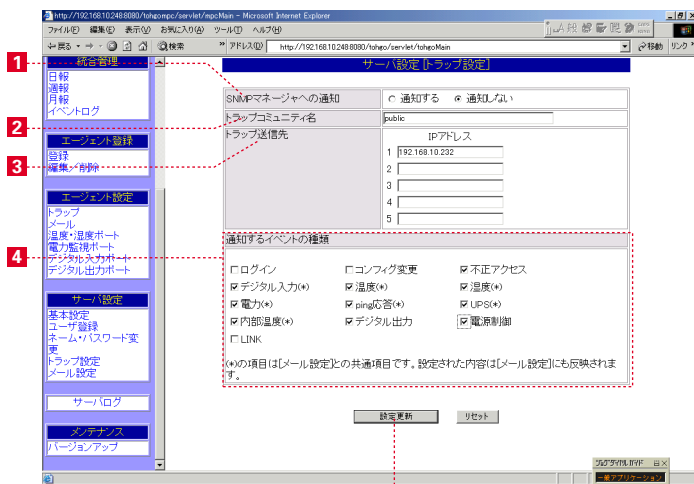



図 07-10-4 サーバ設定[トラップ設定]画面

画面の説明

■表示項目

1 SNMPマネージャへの通知 ……… デフォルト値→通知しない。
2 トラップコミュニティ名 …………… デフォルト値→public
3 トラップ送信先 ………………………… トラップ送信先のIPアドレスを入力します。
1で「通知する」を選択した場合は、必須です。
4 通知するイベントの種類 …………… 複数の選択が可能です。
（本項目の設定内容はメール内容に反映されます。）

5「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、「設定の更新を始めます」というポップアップメッセージを表示します。

●複数エージェントのメール設定値を一括変更します。

図 07-10-5 サーバ設定[メール設定]画面

画面の説明

■表示項目

1 メールで管理者へ通知 ………… デフォルト値→通知しない。
2 メールサーバ ………………… IPアドレスを入力します。
3 送信元アカウント …………… メールアドレスを入力します。
4 メール送信先 ………………… メールアドレスを入力します。
（2〜4：1で「通知する」を選択した場合は、必須です。）
5 通知するイベントの種類 ………… 複数の選択が可能です。
（本項目の設定内容はメール内容に反映されます。）

6「設定更新」ボタン

●入力制限チェック
→OKの場合、「設定を更新してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。
→NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。
●確認のポップアップ画面で、
→OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。
→「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。
●処理開始後、標準の正常終了メッセージを表示します。

7 リセット

●登録内容の再呼び込みをします。

07-11　サーバログについて　■権限：マネージャ

●サーバのログイベントを表示します。

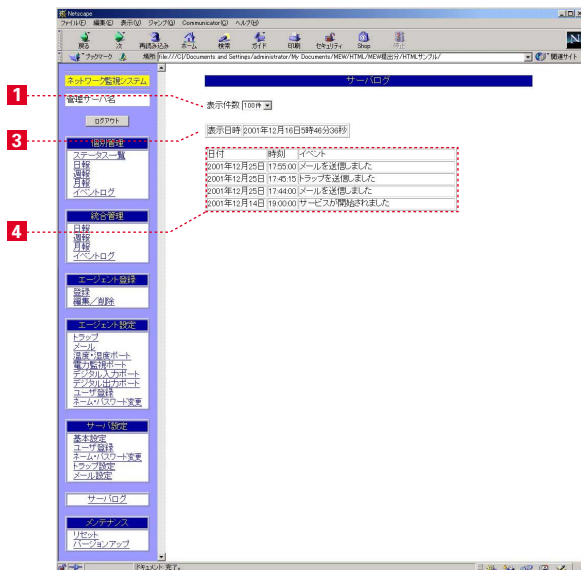



図 07-11 サーバログ画面

画面の説明

■操作

●初期表示は100件分を表示します。
●プルダウンメニューで表示件数を変更することができます。

■表示項目

1 プルダウンメニュー ……… 表示する件数を指定します。
〔100件、300件、500件、全て（保存されている全指定件数分が全て表示されます。）〕エ
2 名前 ………………………… ージェントに設定された名前を表示します。
3 表示日時 …………………… 表示された日時を表示します。
4 イベント表示 ……………… 最新情報を最上段に指定件数分表示します。
（日付、時間、イベントを表示します。）

07-12 メンテナンスについて ■権限:マネージャ

●管理サーバから指定エージェントまたは全エージェントの【ファームウェアバージョンアップ】を実行します。

07-12-1 メンテナンス「バージョンアップ」

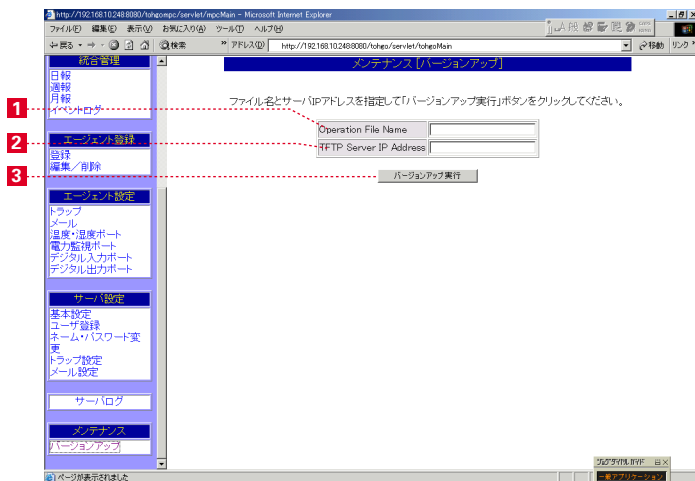



図 07-12-1 メンテナンス[バージョンアップ]画面

画面の説明
■表示項目 1 Operation File Name ・・・・・・・・・・・・・・ 半角英数20文字以内で入力してください。 2 TFTP Server IP Adress ・・・・・・・・・ TFTPサーバのIPアドレスを入力します。
3「バージョンアップ実行」ボタン ●入力制限チェック →OKの場合、「バージョンアップを開始してよろしいですか？」という確認のポップアップメッセージを表示します。 →NGの場合、標準のエラーメッセージを表示します。 ●確認のポップアップ画面で、 →OKボタンをクリックした場合、処理を開始します。 →「キャンセル」をクリックした場合、登録画面に戻り、入力状態は保持します。 ●処理開始後、「バージョンアップを開始します」というポップアップメッセージを表示します。

08 SNMP

Snmp

08-1 SNMP

本装置はSNMPエージェント機能を内蔵しています。SNMPマネージャから監視、制御、設定が行えます。
SNMP管理を行う場合は、WebまたはコンソールでSNMPアクセスをenabledに変更してください。
出荷時はdisabled（無効）になっています。

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより、本装置の管理をNMS上で行えます。

●プライベートMIBの場所：付属CD-ROM内 mewRack.mib

ご注意

MIBのロード･コンパイル使用方法については、ご使用されるNMSのマニュアルをご参照してください。

09 オプション

Option

09A　ラック管理システム　電力監視ユニット　BCRN1010

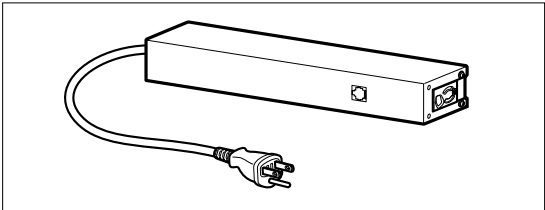
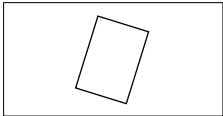
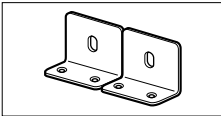
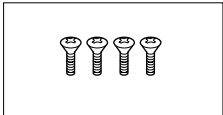
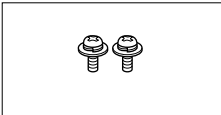
09A-1　製品概要

09A-1-1　特徴

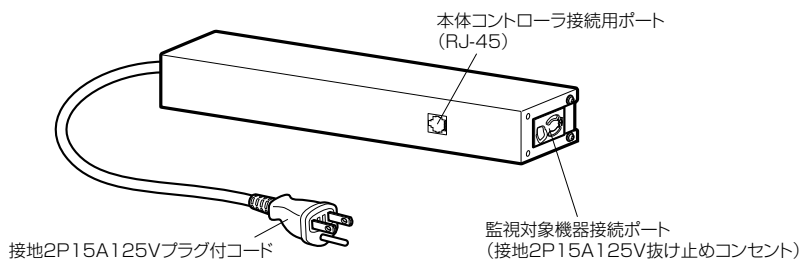
☆電圧、電流、電力、電力量を計測
☆本体コントローラと接続して、遠隔地から監視可能
☆管理ユニット取付金具（別売品）を使用して、ラックの背面の隙間に設置可能

09A-1-2　仕様

定　格	100V　50/60Hz　1W
ポート	本体コントローラ接続用ポート RJ-45 1ポート 監視対象機器接続用ポート 接地2P15A125V抜け止めコンセント
電源コード	接地2P15A125Vプラグ付コード（3m）
監視項目	実効電流 実効電圧 電力 積算電力量
測定範囲、精度	電流 0.5～15A,　2% of reading＋1% of range 電圧 50～125V,　2% of reading＋1% of range 電力 0.025～1.875kW,　2% of reading＋1% of range（力率0.7以上）
動作環境	温度：0～40℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）
保管環境	温度：－20～60℃、湿度：5～90%RH（結露なきこと）
外形寸法	W44×D60×H300（mm）（突起部は除く）

09A-1-3　付属品

本体

取扱説明書…1枚

取付金具…2個

取付ねじA…4個

取付ねじB…2個

09A-2 各部の名称と機能

09A-2-1 各部の名称

09A-2-2 機能

●監視対象機器接続ポート

- 15A 125Vまでの電流、電圧、電力、積算電力量を計測します。

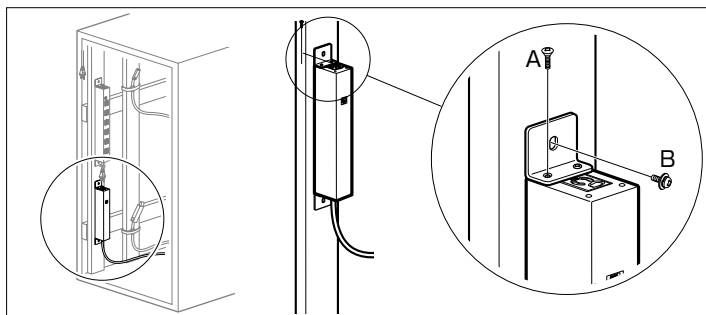
●本体コントローラ接続用ポート

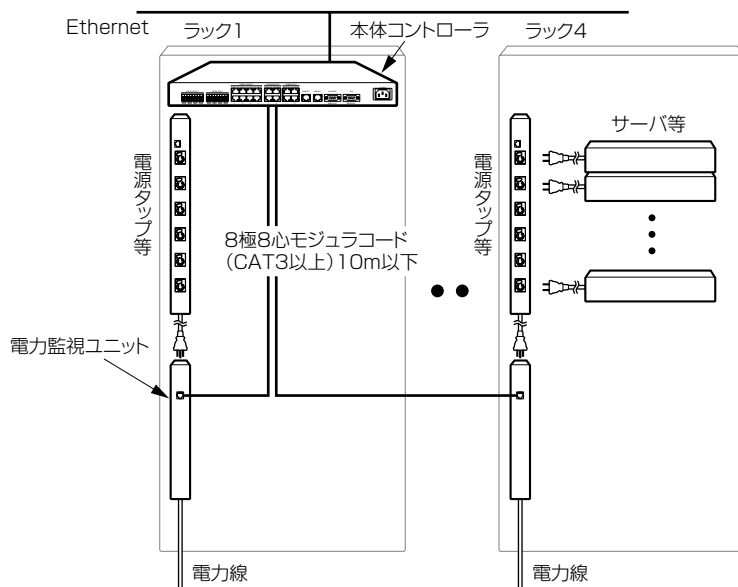
本体コントローラと8極8心モジュラコード（CAT3以上）で接続

09A-3 設置方法

09A-3-1 ラック背面への設置

取付ねじAで取付金具を本装置に取り付け、本装置を取付ねじBで管理ユニット・電源タップ取付金具（別売品）（10F項参照）に取り付け管理ユニット取付金具に付属のねじでラックに固定してください。

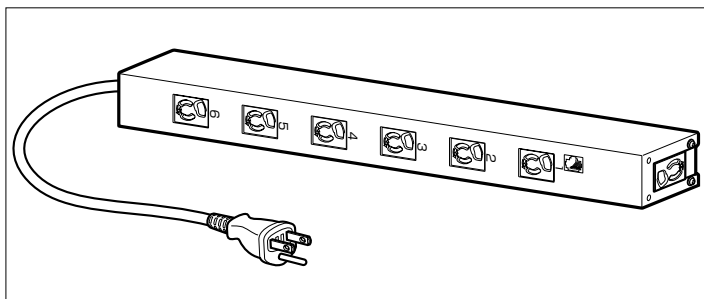
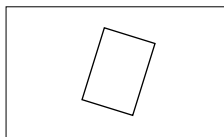
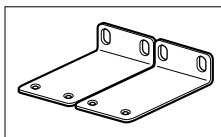
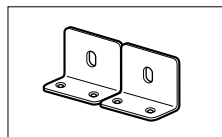
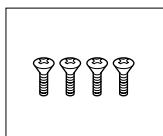
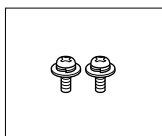
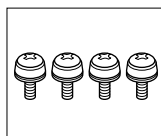
09A-4 接続方法

本装置はモジュラコードで本体コントローラと接続します。
本装置は本体コントローラ1台で4台まで接続することができます。

09B ラック管理システム　電源制御ユニット(3m) BCRN1020
ラック管理システム　電源制御ユニット(50cm) BCRN1021

09B-1 製品概要

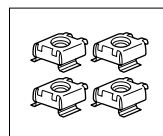
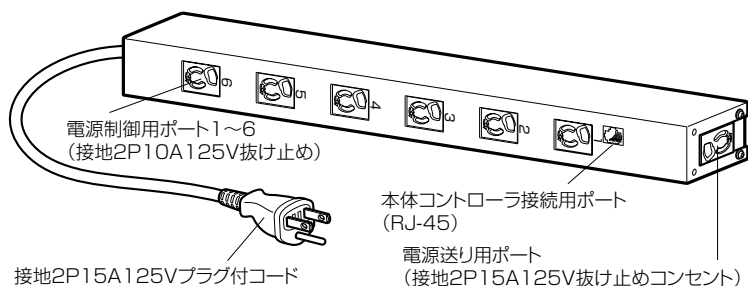
09B-1-1 特徴

☆本体コントローラと接続してサーバやLAN機器等への電源供給を制御
☆本装置1台で6コンセントまでの電源供給を独立て制御
☆本装置を送り配線により、増設可能
☆常時OFFリレー(B接点)を使用しているため、ケーブルの断線・抜け等の障害が発生しても、本装置に接続している機器への電源供給に支障を与えない
☆EIA19インチラックに収納可能(1U)
☆管理ユニット取付金具(別売品)を使用して、ラックの背面の隙間に設置可能

09B-1-2 仕様

ポート	電源制御ポート 接地2P10A125V抜け止め 6ポート 本体コントローラ接続用ポート RJ-45 1ポート 電源送り用ポート 接地2P15A125V抜け止めコンセント
電源コード	接地2P15A125Vプラグ付コード 3m, 50cm
電源	AC100V 50/60Hz
動作環境	温度:0～40℃、湿度:20～80%RH(結露なきこと)
保管環境	温度:－20～60℃、湿度:5～90%RH(結露なきこと)
外形寸法	W44×D60×H440(mm)(突起部は除く)

本体

取扱説明書…1枚

取付金具(大)…2個

取付金具(小)…2個

取付ねじA…4個

取付ねじB…2個

化粧ねじ(M5)
化粧座金付…4個

ケージナット(M5)
…4個

09B-2 各部の名称と機能

09B-2-1 各部の名称

09B-2-2 機能

●**電源制御用ポート**

- 10Aまでの機器が6台接続可能です。
- コンセントのON／OFF切り替えは、常時ONのリレー（B接点）で行いますので、本体コントローラ等に何らかの障害があった場合でも、本装置からの電源供給は停止することはありません。

●**本体コントローラ接続用ポート**

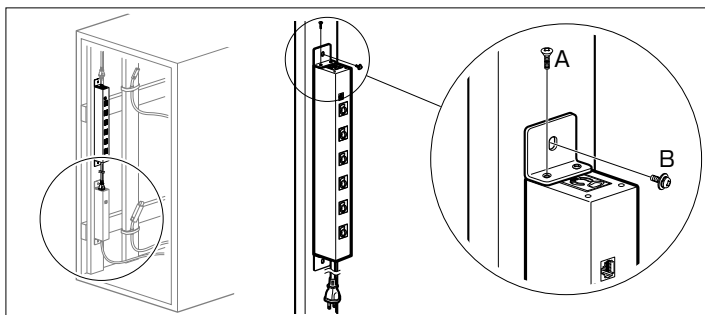
本体コントローラと8極8心モジュラコード（CAT3以上）で接続

●**電源送り用ポート**

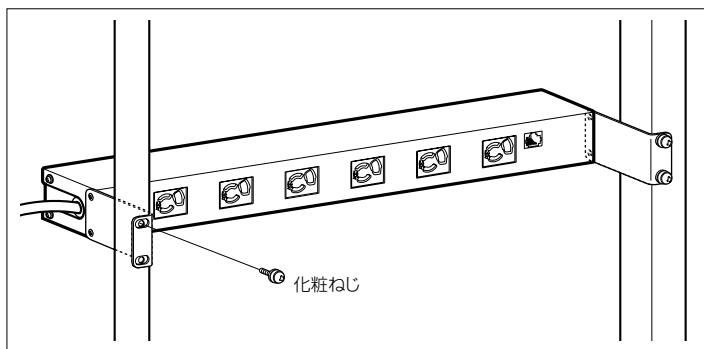
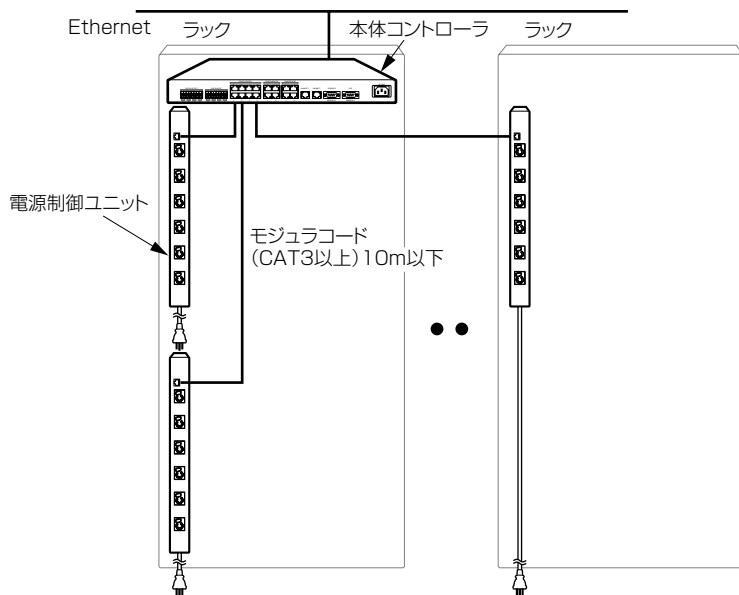
本装置を追加接続するためのコンセント

09B-3 設置方法

09B-3-1 ラック背面への設置

取付ねじAで取付金具(小)を本装置に取り付け、本装置を取付ねじBで管理ユニット・電源タップ取付金具(別売品)(10F項参照)に取り付け管理ユニット・電源タップ取付金具に付属のねじでラックに固定してください。

09B-3-2 ラックマウント

取付ねじAで取付金具(大)を本装置に取り付け、本装置を化粧ねじでEIA19インチ規格準拠のラックに固定してください。

09B-4 接続方法

本装置はモジュラコードで本体コントローラと接続します。
本装置は本体コントローラ1台で8台まで接続することができます。
本装置は送り配線することができます。

ご注意

●本装置に、常時通電や電源ON/OFF制御により、火災・故障の可能性がある機器は、接続しないでください。
●電源制御ポートは、それぞれ10A以下(突入電流60A以下)、電源送り用ポートは、15A以下でお使いください。
火災・感電・故障の原因となることがあります。

09C ラック管理システム　温度センサ(2m)　BCRN1030
ラック管理システム　温度センサ(8m)　BCRN1031

09C-1 製品概要

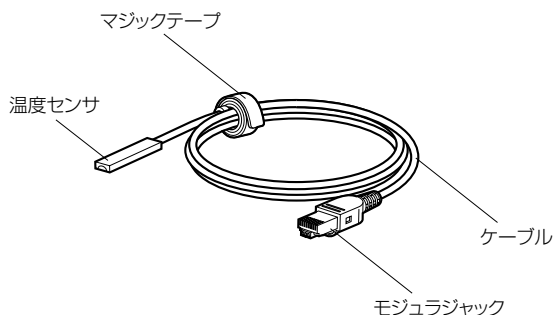
09C-1-1 特徴

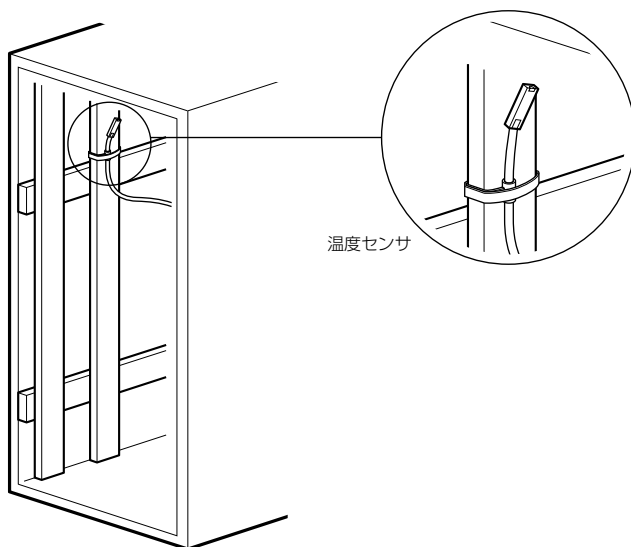
☆本体コントローラと接続して温度を監視

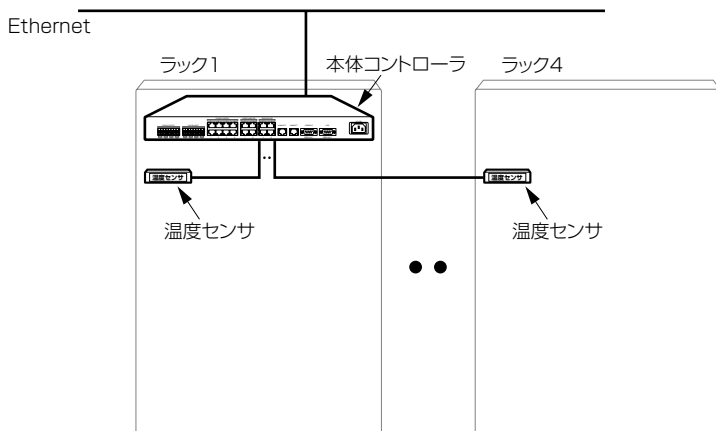
09C-1-2 仕様

測定範囲、精度	温度：－10～80℃、　±3℃
動作環境	温度：－10～80℃、湿度：20～80%RH（結露なきこと）
保管環境	温度：－20～80℃、湿度：5～90%RH（結露なきこと）
ケーブル長	温度センサ：2m、8m

09C-2 各部の名称

09C-3 設置方法

付属のマジックテープで、ラックのフレーム等に固定してください。

⚠注意	センサ部は金属面に接触しないようにしてください。

09C-4 接続方法

本体コントローラのTEMPERATUREポートに接続します。
本体コントローラ1台で4個まで接続することができます。

09D　ラック管理システム　湿度センサ(2m)　BCRN1040

09D-1　製品概要

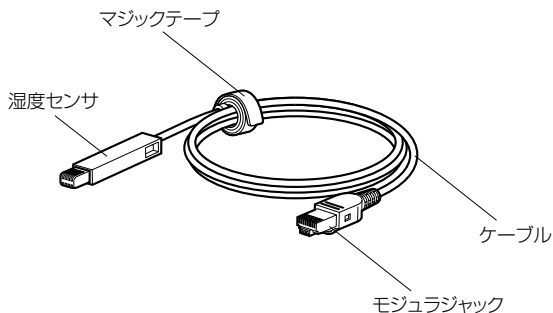
09D-1-1　特徴

☆本体コントローラと接続して湿度を監視

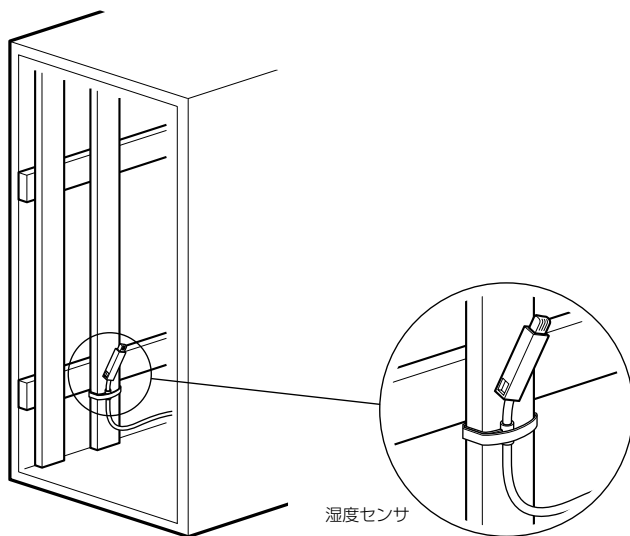
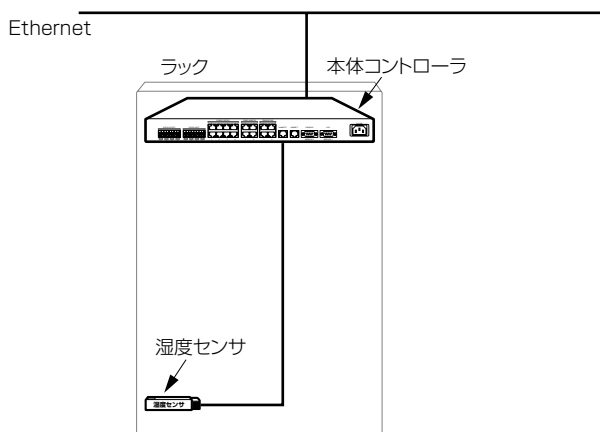
09D-1-2　仕様

測定範囲、精度	湿度：10～85%RH、　±8%RH
動作環境	温度：0～40℃、湿度：10～85%RH（結露なきこと）
保管環境	温度：−20～60℃、湿度：5～90%RH（結露なきこと）
ケーブル長	2m
寿命	1年（25±5℃、50±20%RH）

09D-2　各部の名称

09D-3 設置方法

付属のマジックテープで、ラックのフレーム等に固定してください。

⚠注意	**センサの先端部に触れたり、帯電したものを近づけないでください。** 静電気により故障の原因となることがあります。

09D-4 接続方法

本体コントローラのHUMIDITYポートに接続します。
本装置は本体コントローラ1台で1個接続することができます。

10 故障かな？と思われたら

Something Wrong

10-1 故障かな?と思われたら

症　　状	考えられる原因	処　　置
電源LEDが点灯しない場合	電源コードがはずれていませんか？	電源コードを入れてください。
イーサネットLEDが点灯しない場合	ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？	ケーブルを該当するポートに正しく接続してください。
	ケーブル類は適切なものを使用していますか？	ケーブル類を適切なものを使用してください。
	イーサネットポートに接続している機器は10BASE-T規格に準拠していますか?	10BASE-T規格に準拠した機器を使用してください。
センサ等のリンクLEDが点灯しない場合	ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？	ケーブルを該当するポートに正しく接続してください。
	ケーブル類は適切なものを使用していますか？	ケーブル類を適切なものを使用してください。

上記の点検をしてもなお異常がある場合

ただちに使用を中止
本装置をお買い上げの販売店へお持ちください。

11 アフターサービス

After Service

1.修理を依頼されるとき

「故障かな？と思われたら」に従って調べていただき、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書を添えて商品をご持参ください。保証書の記載内容により販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

2.アフターサービス・商品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店または下記の連絡先にお問い合わせください。

サンケン電気株式会社
電話：03-3986-6157